
2015-2013年度生

CONTENTS

全学共通教養教育科目の目的	1
全学共通教養教育科目とは	2
全学共通教養教育科目の「科目群」と「科目」	
同志社科目群	3
キャリア形成支援科目群	3
国際教養科目群	4
人文科学系科目、社会科学系科目、自然・人間科学系科目	9
先端・複合領域科目	9
保健体育科目	9
同志社データサイエンス・AI教育プログラム（DDASH）	10
全学共通教養教育科目の履修について	12
全学共通教養教育科目 登録にあたっての注意	12
2024年度からの学年暦についての注意	13
全学共通教養教育科目 開講科目	15
開講科目一覧表の見方について	15
全学共通教養教育カリキュラム・ポリシー	33

◆ 重 要 ◆

◆修得した単位の取扱い（卒業必要単位への算入方法など）は、学部によって異なります。また、登録にあたって、個別の条件が付加される場合がありますので、所属学部・学年の『履修要項』を参照し、十分に理解した上で登録してください。

全学共通教養教育科目の目的

同志社大学は、「良心を手腕に運用する人物の育成」すなわち「良心教育」という建学の精神のもとに、「キリスト教主義」「自由主義（自治自立の精神）」「国際主義」という3つの教育理念を掲げている。さらにこの理念に基づいて5つの教育目標を定め、本学が育成すべき資質を明確にしている。すなわち「高い倫理観と豊かな人間性の育成」、「自治自立の精神と行動力の育成」、「生涯を通じて社会に貢献する精神と行動力の育成」、「国際社会に対応できる語学力と行動力の育成」及び「寛容な精神の育成」である。これらの理念と目標は、人間としての総合力（知・徳・体のバランス）に優れた人物の育成を目指している。そのため全学に共通する基礎的・専門横断的な科目、「全学共通教養教育科目」を開設している。

人はさまざまな形で教養を得ていく。教養が知識や技能を修得し行使する際に形成されていく「ものの見方」や「考え方」あるいは「価値観」の総体だとするならば、専門的な学術体系にはじめて接する大学時代こそ、学生が教養へと向かう第一歩である。またこの知識・技能を支えていく基盤となるのが、心と身体への適切な配慮、深い倫理性と感性、主体的な行動力とバランス感覚であることはいうまでもない。だが社会に目を向ければ、学生は急激な社会構造の変化、グローバル化の進展に直面し、大学においても学問や科学技術の高度な専門化、細分化に向き合っている。現代社会はさらなる資質、能力を求めている。

現代の大学生にまず求められるのは、それぞれの学問分野に特有な発想や方法の基礎を理解し、同時にさまざまな学問分野の発想や方法があることを知る、つまり一方に偏することのない広い視野を確保することである。そのためには、学生が複数の学問系を経験すること、つまりある事象に対して複数のアプローチが可能であることを知る必要がある。自分の専攻分野とは異なる分野を学び、物事を多角的な視点から見る力を養うことによって、新しい価値の創造を試みることができるようである。さらに求められるのは、大学時代に外国語運用を含めたコミュニケーション能力を十分に獲得しておくことである。グローバル化した社会では、異文化理解やその基礎となる外国語運用力はもちろんのこと、日本の伝統、文化、歴史、自然を理解することが必要となる。自らを知り、異なる文化や価値についても理解し、互いに尊重し合える人物こそが、真の意味でのコミュニケーションを行えるからである。またさらには現代社会特有の現象といえる情報過多に向き合い、その真偽を判断する能力も必須の教養となる。

こうした現代的教養を目指して開設された「全学共通教養教育科目」は、本学においては特別な意味をもっている。確かに学生はそれぞれの専門科目の履修によって専門的知見を修得していく。しかしその過程では、おのおのの専門的知見が広く人間社会において持っている意義を確認することも必要となる。そのための有効な手だては、本学の教育理念・教育目標に立ち返りながら、全学共通教養教育科目を学ぶことである。すなわちそれぞれの専門性を、諸学の基礎的な、専門横断的な立場から再認識してみることである。この意味で専門教育科目と全学共通教養教育科目は、互いに排除しあうものではなく、むしろ補完し合う関係にある。

具体的には、学生は全学に共通する教養教育科目を四年間に亘り、系統的に履修することが望ましい。体系的・段階的履修によってこそ、学生は多様な学問分野への関心を抱きながら、主体的学習を進め成長することができる。学生は各人の志向に応じて、専門教育科目と全学共通教養教育科目の両者を総合していく。それによってはじめて、それぞれが良心を手腕に運用しながら、同時に知識・技能をもって社会に貢献する人物へと成長していくのである。

全学共通教養教育科目とは

全学共通教養教育科目とは、すべての学部学生を対象とした共通の教養教育科目のことです。全学共通教養教育科目では、本学の建学の精神である「良心教育」を、「キリスト教主義」「自由主義（自治自立の精神）」「国際主義」という3つの教育理念に基づき、リベラルアーツ教育の伝統を受け継ぎながら現代において展開しており、幅広い学問分野にわたり、充実した科目を開設しています。

全学共通教養教育科目に関するホームページ <https://cgle.doshisha.ac.jp/cgle/>



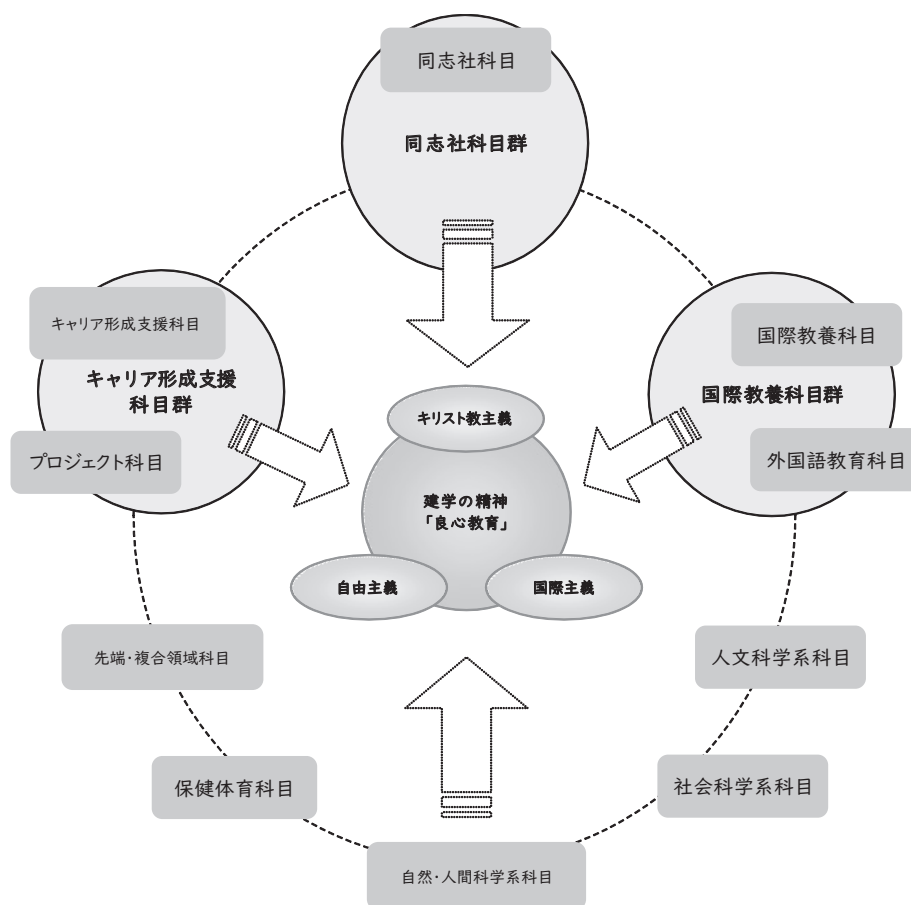
全学共通教養教育科目の科目群と科目

全学共通教養教育科目には「科目群」と「科目」というグループ分けがあります。

「科目群」には「同志社科目群」、「キャリア形成支援科目群」、「国際教養科目群」の3つがあり、それぞれ、全学共通教養教育科目の中で「建学の精神、新島襄、キリスト教」、「自己形成、キャリア形成」、「異文化理解、外国語」に関連する科目をピックアップしてわかりやすくまとめ、体系的に履修することができるようにしたものです。

「科目」は、全学共通教養教育科目のすべての科目を特性や分野ごとに「〇〇科目」という名称でグループ分けしたものです。

同志社大学 全学共通教養教育科目イメージ図



同志社科目群

同志社大学で学ぶ皆さんの中には、本学の成り立ちや教育理念のひとつであるキリスト教についてほとんど学ぶことのないまま卒業する方がいるかも知れません。混迷の様相を増している現代社会において、「キリスト教的人間観から醸成される他人への優しさと、安易に人に左右されない信念と独立心を持った自治自立の人物を養成する」という本学の良心教育の精神は、きっと皆さんの将来を豊かにかつ有意義なものに導いてくれるはずで

「同志社科目群」は、全学共通教養教育科目の中で「建学の精神」やキリスト教について学ぶ科目をピックアップしてわかりやすくまとめ、履修計画を立てやすいようにしたものです。

「同志社科目群」は以下の2つに分類されます。

○基礎科目

建学の精神の基本を学ぶ入門科目

○展開科目

建学の精神を詳しく学ぶ発展的な科目及び建学の精神に広く関連する科目で、キリスト教思想の根本や歴史などをより深く学ぶ科目

ぜひとも「同志社科目群」の履修を通じ新島襄先生の高遠な思想に触れていただき、そして「同志社人」としてのアイデンティティと誇りをもって巣立っていかれることを願っています。

同志社科目群一覧表

	配当年次	科目名	単位	科目区分
基礎科目	1～	建学の精神とキリスト教	2	同志社科目
	展開科目	1～	キリスト教と人間1	2
キリスト教と人間2				
キリスト教とは何か1				
キリスト教とは何か2				
1～		キリスト教会と現代文化	2	
		人物から学ぶキリスト教の歴史	2	
		キリスト教の歴史と同志社	2	
1～	同志社の歴史(2014年度以降生のみ)	2	人文科学系科目	
	宗教学(1)	2		
宗教学(2)				

※「同志社科目群」を履修するのに特別な申請は必要ありません。通常の手続きどおり先行登録(科目による)、科目登録等を行ってください。先行登録が必要な科目及び手続き方法については、所属する学部の登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

キャリア形成支援科目群

キャリアとは、狭い意味では職業生活に関することを指しますが、広い意味においては、人生の生き方そのものをいいます。

本学では、全学共通教養教育科目として「キャリア形成支援科目群」と「キャリア形成支援科目」を提供しています。

「キャリア形成支援科目群」とは、全学共通教養教育科目の中で、キャリア形成に関連する科目を体系的な履修奨励のためにピックアップしてわかりやすくまとめたものです。

「キャリア形成支援科目群」は、職業生活を中心にして、ライフプランニングから働く意識の醸成、人生観の養成まで扱う「キャリア形成支援科目」と、自分で自分の人生を設計する能力を身に付ける「プロジェクト科目」から構成されています。「キャリア形成支援科目群」の履修を通じて、人生のイメージを描き、自分で自分の人生を選んでいける自治自立の精神を身に付けていただきたいと思います。

「キャリア形成支援科目群」は以下の2つに分類されます。

○基礎科目

キャリア形成の啓発的科目で、基本的事項を学ぶ科目

○展開科目

基礎科目の発展的科目で、キャリア形成に関して実践的に、もしくは深く学ぶ科目

自己発見、自己形成により充実した幸せな人生を送るため、積極的に履修していただくことを期待しています。

キャリア形成支援科目群一覧表

	配当年次	科目名	単位	科目区分
基礎科目	1～	キャリア開発と学生生活	2	キャリア形成
	1～	キャリア開発の課題と方法	2	
	1～	労働市場の動向とキャリア形成	2	
	1・2のみ	インターンシップ入門	2	
	1～	メガトレンドを読む	2	
	1～	SDGsで考える社会課題とキャリア形成(2014年度以降生のみ)	2	
	展開科目	2～	働くということ	
1～		キャリア形成とインターンシップ(*)	2	キャリア形成
2～		プロジェクト科目1	2	プロジェクト科目
	プロジェクト科目2(*)			

*クラスにより配当年次が異なる。開講科目一覧表を参照すること。

※「キャリア形成支援科目群」を履修するには特別な申請は必要ありません。通常の手続きどおり先行登録(科目による)、科目登録等を行ってください。先行登録が必要な科目及び手続き方法については、所属する学部の登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

プロジェクト科目

「プロジェクト科目」は、教員が知識を伝授する座学の講義スタイルとは異なり、学生自らが構想・計画をし、ディスカッションを重ねながら、行動するという、実践型・参加型スタイルの授業です。企業や地域社会の方々から提案されたテーマをもとに、現場の生きた知恵や技術、そしてマネジメント・サイクルを学び、プロジェクトの立ち上げから完成までの一連のプロセスに主体的に関わりながら、実践的な問題発見・解決能力—社会を生き抜く力—を身に付けます。この科目は、現場の第一線で働く社会経験豊かな方々と本学の専任教員によって運営されるのが特長です。

なお、この科目は学外での活動も多く想定されますので、通常の科目とは違い、時間割や活動場所などいろいろな制約があります。しかし、この科目で培われたスキルは、今後かけがえのない財産となるはずです。



ホームページ：<https://pbs.doshisha.ac.jp/pbs/>

※先行登録が必要な科目となりますので、所定の手続きが必要です。登録手続きや開講される科目の情報については、所属する学部の登録要領やシラバスで確認してください。

※卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

国際教養科目群

現代は国境を越えた多面的な交流が急速に進行するグローバル化の時代であり、豊富な知識を持って多様な価値観を互いに認め合い、異なる民族や文化に属する人々と協力しながら、未来を切り拓いていく人材が求められています。国際社会で活躍するためには、以下のような素養を身に付けることが必要であると考えます。

- ①現在の世界の諸相を理解するための豊かな知識
- ②積極的に異文化を理解し異文化に触れようとする姿勢
- ③外国語による卓越したコミュニケーション能力
- ④国際社会における諸課題の認識及び分析と解決能力

国際教養科目群一覧表

	配当年次	科目名	単位	科目区分	備考		
基礎科目	1~	国際教養基礎論1	2	国際教養科目	2025年度から廃止予定。		
		国際教養基礎論2					
		日本近現代史					
		世界近現代史					
	世界の宗教	2					
		留学関連科目以外の外国語教育科目		外国語教育科目			
展開科目	1~	比較言語文化論1	2	国際教養科目	2025年度から廃止予定。		
		比較言語文化論2					
	1~	地域言語文化論1	2				
		地域言語文化論2					
	1~	メタ言語文化論1	2				
		メタ言語文化論2					
	2~	ジョイント・セミナー比較文化論	4				外国人留学生と学ぶ科目。外国語で授業を行う。
	1~	多文化コミュニケーション学の基礎	2				
		多文化コミュニケーション学の応用	2				
	1~	異文化間コミュニケーションA	2				
1~	異文化間コミュニケーションB	2					
1~	人から人間への道	2					
1~	アイデンティティの社会格差	2					

⑤日本と世界の近現代史及び世界の諸宗教についての十分な理解力

⑥日本の伝統・現代文化の知識と理解

本学では、以上を身に付けた実践力のある人材を育成するために、全学共通教養教育科目として「国際教養科目」を提供しています。そして、国際教養に関連する科目の体系的な履修を奨励するために、「外国語教育科目」を含んだ①~⑥に関連する全学共通教養教育科目をピックアップして「国際教養科目群」として明示しています。

「国際教養科目群」は、異文化及び日本文化を理解する科目である「国際教養科目」と、外国語運用能力・コミュニケーション能力を養成する「外国語教育科目」で構成されており、バランスよく国際感覚を身に付けることを目標としています。「国際教養科目」には、外国語で授業が行われる科目や、受入留学生とともに学ぶ科目などが用意されており、留学を疑似体験することが可能となっています。また、「外国語教育科目」には、実際に海外の大学に短期間留学し、身に付けた国際教養を実践できる科目が用意されています。

国際社会で活躍できる人材の養成は、「国際主義」を教育理念のひとつとする本学に課せられた重要な社会的使命でもあります。ぜひ、積極的に履修してください。

「国際教養科目群」は以下の3つに分類されます。

○基礎科目

異文化に関する基本を学ぶ科目、「外国語教育科目」のうち留学を伴わない科目

○展開科目

異文化に関して深く学ぶ科目、「ことば」や国際社会に関して深く学ぶ科目

○留学関連科目

海外留学を伴う科目や受入留学生との合同授業で、外国語運用能力及び異文化理解を実践する科目

※「国際教養基礎論1・2」、「比較言語文化論1・2」、「地域言語文化論1・2」、「メタ言語文化論1・2」は2024年度の科目提供を最後に、2025年度からは廃止する予定ですのでご注意ください。

配当年次	科目名	単位	科目区分	備考		
留学関連科目	日本の伝統と美	2	国際 教養 科目	外国人留学生と学ぶ科目。一部のクラスは外国語で授業を行う。 外国人留学生が履修する場合は、日本語・日本文化教育科目を履修すること。		
	日本の伝統と文化	2				
	日本の伝統と芸能	2				
	日本の伝統と能楽	2				
	日本の伝統と芸術	2				
	1～	日本とアジア1		2	外国人留学生と学ぶ科目。 一部のクラスは外国語で授業を行う。	
	1～	日本とアジア2				
	1～	日本の思想・宗教1		2	外国人留学生と学ぶ科目。外国語で授業を行う。 外国人留学生が履修する場合は、日本語・日本文化教育科目を履修すること。	
	1～	日本の思想・宗教2				
	1～	日本の社会事情		2	外国人留学生と学ぶ科目。外国語で授業を行う。	
	1～	Japan Today1		2		
	1～	Japan Today2				
	1～	*① スタンフォード大学科目		2		
	1～	*② AKP科目		2		
	1～	*② KCJS科目		2		
	1～	チュービンゲン大学科目		2		
	2～	*⑤ Intercultural Studies		2		
	2～	*⑤ EUキャンパス特別講義		2		
	1～	*③ サマープログラム・英語A		4		外国語 教育 科目
	1～	*③ サマープログラム・英語B		3		
	1～	*③ サマープログラム・英語C		2		
	1～	*④ スプリングプログラム・英語A		4		
	1～	*④ スプリングプログラム・英語B		3		
	1～	*④ スプリングプログラム・英語C		2		
	1～	*④ スプリングプログラム・英語D		1		
	2～	セメスタープログラム・英語 I		4		
	2～	セメスタープログラム・英語 II		4		
	2～	*③ サマープログラム・ドイツ語A		4		
	2～	*③ サマープログラム・ドイツ語B		3		
	1～	*④ スプリングプログラム・ドイツ語		3		
	2～	*⑤ セメスタープログラム・ドイツ語 I		4		
	2～	*⑤ セメスタープログラム・ドイツ語 II		4		
	2～	*③ サマープログラム・フランス語		4		
1～	*④ スプリングプログラム・フランス語	3				
2～	*③ サマープログラム・中国語	4				
1～	*④ スプリングプログラム・中国語	1				
2～	*③ サマープログラム・スペイン語	4				
2～	*④ スプリングプログラム・スペイン語	1				
1～	*④ スプリングプログラム・スペイン語C	2				
2～	*③ サマープログラム・ロシア語	4				
2～	*③ サマープログラム・ロシア語	3				
1～	*④ スプリングプログラム・ロシア語	3				

*① 「スタンフォード大学科目」の授業期間は、AUTUMN QUARTERが9月下旬～12月中旬、SPRING QUARTERが4月上旬～6月中旬である。

配当年次はAUTUMN QUARTERのクラスが1年次生から、SPRING QUARTERのクラスが2年次生からである。

*② 「AKP科目」「KCJS科目」の授業期間は、FALL SEMESTERが9月上旬～12月中旬、SPRING SEMESTERが1月中旬～4月中旬である。

配当年次はFALL SEMESTERのクラスが1年次生から、SPRING SEMESTERのクラスが2年次生からである。SPRING SEMESTERのクラスは、すべて次年度春学期科目の扱いになるため、配当年次は2年次生になるが、授業は前年度1月上旬から開始されるので注意すること。したがって、授業開始年度に卒業予定の学生は履修できない。

*③ サマープログラムは春学期科目だが、春学期末には成績付与されないため、再修生で9月卒業予定者は履修することができない。

*④ スプリングプログラムは秋学期科目だが、秋学期末には成績付与されないため、プログラム参加時に4年次生以上の者は履修できない。

*⑤ 同志社大学チュービンゲンEUキャンパスで「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」という教育プログラムを開講している。「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」は「セメスタープログラム・ドイツ語 I、II」、「Intercultural Studies」、「EUキャンパス特別講義」で構成され、4科目セットで登録する。

以下の科目も国際教養科目群の科目として、履修できるようになりました。(今年度休講の科目もあります)

科目区分	配当年次	科目名	単位	英語レベル	備考
国際教養科目	1～	Freshman “Go Global” Program	2	英語、日本語併用	外国人留学生と学ぶ科目。
	1～	Mid-college “Be Strong” Program	4		
	1～	Introduction to Japanese Culture in the Global Context	2	L0	
	1～	Introduction to Japanese Society in the Global Context	2	L0	
	1～	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context	2	L0	
	2～	Humanities and Global Issues	2	L2	
	2～	Social Sciences and Global Issues	2	L2	
	2～	Natural Sciences and Global Issues	2	L2	
	1～	Japan in Modern World History	2	L2	
	1～	International Relations in the Postwar Era	2	L2	
	1～	Issues in Japanese Culture	2	L2	
	1～	Democracy and Politics : A Comparative Perspective	2	L2	
	1～	Education in the Age of Globalization	2	L2	
	1～	Issues in Intercultural Communication	2	L1	
	1～	Economy and Business in the Global Context 1	2	L2	
	1～	Economy and Business in the Global Context 2	2	L2	
	1～	Principles of Economics	2	L2	
	1～	Environmental Economics and Sustainability	2	L2	
	1～	Critical Social Issues in Contemporary Japan 2	2	L2	
	1～	Statistics for the Social Sciences and Humanities	2	L2	
	1～	Introduction to Computer Science and Information Technology	2	L1	
	1～	Human Science in the Global Age	2	L2	
	1～	Introduction to Quantitative Data Analysis	2	L2	
	1～	Conservation of Japanese Nature and Environment	2	L2	
	1～	Mathematics and its History	2	L1	
	1～	Science of Natural Disasters	2	L2	
	1～	Advanced Seminar 1	2	L3	
	1～	Advanced Seminar 2	2	L3	
	1～	Advanced Seminar 3	2	L3	
	1～	京都科目	2	日本語	
	1～	クールジャパン科目	2	日本語	
	2～	クリエイティブ・ジャパン科目	2	日本語	

外国人留学生と学ぶ科目について、英語力がTOEFL ITP®テスト500のレベルに達していない者は、L0、L1から履修することをすすめる。

英語レベルの詳細については、シラバスを参照すること。

※TOEFL、TOEFL iBT、TOEFL ITPIは、エデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。

※「国際教養科目群」を履修するには特別な申請は必要ありません。通常の手続きどおり先行登録(科目による)、科目登録等を行ってください。先行登録が必要な科目及び手続き方法については、所属する学部の登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

◆京都科目

京都は、日本の中で、伝統、文化をはじめとした文化資本とハイテク産業の集積が最も進んだ都市です。そこにある豊かな素材を活用する「京都科目」は、京都の伝統、文化の真髄と普遍的価値、美意識や感性、精神性を理解するとともに、それらが受容性に優れ、広く異質なものを受け入れてきたことを理解することを目的としています。「京都科目」では、「京都」を題材とした学びを通じ、日本各地の伝統、文化への汎用的理解力を養います。

◆クールジャパン科目

「クールジャパン科目」は、「クールジャパン」として世界が注目するコンテンツ、映画、ファッション、音楽、ゲームソフトなどを内容とする科目です。「他文化圏で受容されている現代日本文化の価値」について考察し、新たな文化の創造、文化による産業創出、海外への発信力の強化なども扱います。

◆クリエイティブ・ジャパン科目

「クリエイティブ・ジャパン科目」では、伝統、文化、芸術を産業振興、新産業の創出、まちづくり、地域コミュニティの再生など、社会のさまざまな分野で活用し、幅広い分野に波及させていくことで、日本社会のクリエイティビティを高めるための方法を思考し、文化による日本のブランディングについて考察します。

外国語教育科目

同志社大学は、教育理念のひとつとして「国際主義」を掲げています。高度な外国語運用能力や、外国の文化や社会に対する柔軟な理解力の養成は、本学の使命でもあります。外国語によるコミュニケーション能力を身に付けること、外国語学習を通して異文化理解力を深めることを目的として、英語、及びドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語の7カ国語について、4年間の段階的、体系的カリキュラムを提供しています。また、兼修外国語としてイタリア語も提供しています。外国語を学び、その言語の背景となる文化への理解を深め、コミュニケーション能力を養うことにより、多様な人々の営み、世界観や価値観に触れてみてください。そしてさらに、国際社会で活躍するための高度な語学力、専門分野に役立つような国際的視野の獲得に努めてください。「ことば」の学習をきっかけとしたさまざまな言語体験を通じて、皆さんが豊かな世界観を形成することを期待します。

※先行登録が必要な科目については、所定の手続きが必要です。登録手続きについては、所属する学部の登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

受入留学生とともに学ぶ科目

全学共通教養教育科目では、言語や文化の異なる学生同士が日本のさまざまな文化や芸術についてともに学ぶ科目を数多く開講しています。これらの中には、外国語で授業が行われる科目もあります。該当する科目は4~5ページの表、及び6ページの表で確認してください。

◆スタンフォード大学科目

「スタンフォード日本センター」が同志社大学で実施している、スタンフォード大学の学部生が履修する日本留学プログラムの講義を受講する科目です。

講義は英語で行われ、内容は日本の技術分野に関するものから日本政治、経済、宗教、文化まで幅広く網羅されています。

この講義では、スタンフォード大学の学生と同様の課題が課せられ、講義への積極的な参加が求められます。

◆AKP科目

Associated Kyoto Program (AKP) は、アーモスト大学をはじめとするアメリカを代表する13のリベラルアーツ・カレッジ(アーモスト大学、ベイツ大学、バックネル大学、カールトン大学、コルビー大学、コネチカット大学、マウントホリヨーク大学、オーバリン大学、ポモナ大学、スミス大学、ウェズリアン大学、ウィットマン大学、ウィリアムズ大学)が日本語や日本文化などの日本学教育を目的とし、同志社大学に設置した「AKP同志社留学生センター」が提供する海外留学プログラムです。

「AKP科目」はAKPプログラムの英語による講義をAKP学生とともに受講する科目です。

この講義では、AKP学生と同様の課題が課せられ、講義への積極的な参加が求められます。

◆KCJS科目

Kyoto Consortium for Japanese Studies (KCJS) は1989年に京都市内に設立された機関で、米国の学生に1年間の海外留学プログラムを提供しています。このプログラムにはアメリカの13の名門総合大学(ボストン大学、ブラウン大学、シカゴ大学、コロンビア大学(バーナードカレッジを含む)、コーネル大学、エモリー大学、ハーバード大学、ペンシルベニア大学、プリンストン大学、スタンフォード大学、ワシントン大学(セントルイス)、イエール大学、バージニア大学)が参加しており、京都の歴史的・文化的な資産を生かして、高度な教育環境を提供し、日本研究を志す米国の大学生と知的・文化的な交流がすすめられています。

「KCJS科目」はKCJSプログラムの英語による講義をKCJS学生とともに受講する科目です。

この講義では、KCJS学生と同様の課題が課せられ、講義への積極的な参加が求められます。

◆テュービンゲン大学科目

ドイツのテュービンゲン大学は、日本研究の拠点として同志社大学に「テュービンゲン大学同志社日本研究センター」を設置し、同大学からの留学生に向けて、日本語と日本文化を学ぶための講義を行っています。

「テュービンゲン大学科目」は、テュービンゲン大学同志社日本研究センターの講義を、テュービンゲン大学の学生とともに受講する科目で、講義はドイツ語で行われます。ドイツ語圏への留学準備や留学後のフォローアップに効果的です。ディスカッションに積極的に参加できるドイツ語レベルが望ましいです。

ドイツのEUキャンパスで学ぶ教育プログラム

ドイツのテュービンゲン大学内に設置されたEUキャンパスで春学期に集中的に学ぶ教育プログラム「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」があります。EUキャンパスの特色を生かし、以下の国際教養科目群の4科目をセットで登録します。

◆セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ (外国語教育科目)

1セメスター集中型のドイツ語研修。ドイツ語の運用能力を総合的に高めます。また、フィールドトリップ(3~4箇所)も実施します。

◆Intercultural Studies(国際教養科目)

テュービンゲン大学日本学科の学生との共修科目。日本とドイツ、アジアと欧州の共通点や相違点等の理解を深め、多様な価値観に触れ、受講生自らの世界観を磨くことを目的とします。

◆EUキャンパス特別講義(国際教養科目)

ドイツ及びヨーロッパの先進的な取り組みや諸課題を題材とし、その深層にある社会の特質を理解するとともに、日本が直面する課題の解決について思考することを目的とし、テーマごとにクラスを設定します。

人文科学系科目、社会科学系科目、 自然・人間科学系科目

「人文科学系科目」、「社会科学系科目」、「自然・人間科学系科目」は、専門科目と相互に関連しながら学生の知識と徳性を助成して、人間形成を達成するために設置されています。

人類の主要な学問的知識の諸領域について、知の体系を総合的に学び、人間、社会及び自然について理解することは、専門分野での創意に富む研究力を修得するために、また人間としての自己形成を達成するためにどの専門分野に進む学生にとっても欠くことのできないことです。

※先行登録が必要な科目については、所定の手続きが必要です。登録手続きについては、所属する学部の登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

先端・複合領域科目

◆先端領域科目

「先端領域科目」は、本学で現在行われている研究の最先端について、専門知識のない学生にわかりやすく教授する科目です。

たとえ、専門外の学生ではあっても、研究の最先端に直に触れることで、学問の奥深さと醍醐味を知ることができるはずで、新たな知の領域に触れる感動を自らの専門分野の学修、研究の原動力とすることができるように考えられ、開設されているのが「先端領域科目」です。

◆複合領域科目

現代社会が抱える現実の課題は非常に複雑で、その中には多岐にわたる問題が複合的に重なって存在しています。これらに対処するためには、ひとつの学問分野を切り口としたアプローチでは不十分であり、いくつかの学問分野にまたがる問題に対処する能力を育成することが重要です。

「複合領域科目」では、複数の学問分野に関連する特定のテーマについて、多方面から異なった専門分野の研究者が論じることによって、総合的かつ具体的な問題提供が可能となっており、それらの問題について学際的な視点で学ぶことができる科目です。

※先行登録が必要な科目については、所定の手続きが必要です。登録手続きについては、所属する学部の登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

保健体育科目

人生にとって心身の健康は、なくてはならないものです。人間が現代社会を豊かに生き抜くためには、健康や体力の維持・増進が求められます。そのためには、スポーツを通じて身体を動かす機会を持ち、そこから健康・体力に関する知識と管理方法を修得することが必要です。

保健体育科目のカリキュラムは、「講義科目」、「実技科目」の2部門から構成されており、「講義」と「実技」の両面から最新のスポーツ・サイエンスを学ぶことができます。

現代人にとって、健康のあり方について、講義を通じて理論的に学習することは、人生にとって大いに価値のあることです。また、実技科目である「スポーツ・パフォーマンス1」では、充実した体育施設の中で正確なスポーツ技術を学ぶことができ、安全にスポーツをする姿勢を身に付けながら、体力を向上させる方策を学修することができます。

※先行登録が必要な科目については、所定の手続きが必要です。登録手続きについては、所属する学部の登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

同志社データサイエンス・AI教育プログラム (DDASH)

※2015年度生のみ対象

同志社大学では、文理を問わず、デジタル社会の基礎知識である「数理・データサイエンス・AI」に関する知識・技能を身に付け、各自の専門分野での学修や社会生活でこれらを道具として活用し、新たな価値を創造できる人物の養成を目的として、2022年度に「同志社データサイエンス・AI教育プログラム (DDASH)」を設置しました。

DDASHは「リテラシーレベル」に加え、さらに深く学ぶ「応用基礎レベル」及び「データサイエンス・AI副専攻」の3つのプログラムで構成します。

※「データサイエンス・AI副専攻」は2022年度以降生が対象です。

DDASHを学ぶ理由

科学技術が高度に発達した現代社会では、さまざまな事象や人々の行動は膨大な量のデータとして蓄積され、商品開発から医療診断、防災、防犯など、私たちの生活を取り巻くあらゆる分野で重視され、活用されています。データやAIをいかに利活用できるかは、今や各国にとって経済成長を遂げるうえでの最重要課題と言っても過言ではありません。

データ分析やデータ加工の過程では、数学的な基礎知識が必要ですが、これらを実際の社会活動に活かすためのアイデアや工夫には、文系の知識や発想が役立つでしょう。また、これらを人間が正しく判断し、活用するために哲学、倫理、法学、論理的思考など、人文・社会科学の教養も求められます。

本プログラムは理系学生だけのものではなく、分野を問わず、多くの学生に学んでもらいたい現代社会の教養です。

特徴

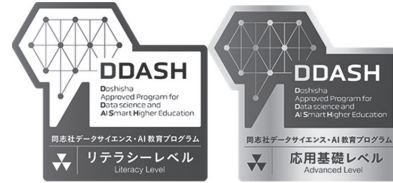
- ・専門分野を問わず、すべての学部学生が履修可能な全学共通教養教育科目で構成するプログラムです。
- ・必修科目の「データサイエンス概論」、「データサイエンス基礎」、「データエンジニアリング基礎」、「AI基礎」は、オンデマンド配信の科目のため、時間・場所を問わず受講できます。（「データサイエンス基礎」と「データエンジニアリング基礎」は試験のみ指定の曜日・講時で対面試験を実施。）
- ・本学学生向けの特別価格で「統計検定」の受験が可能です。このことにより、自身の学修の到達度を客観的に確認できます。
- ・プログラムの必要単位を満たせば、卒業可否に関わらず学習歴のデジタル証明である「オープンバッジ」を希望者に発行します。就職活動等、学内外でのスキルの証明に活用できます。
- ・プログラム履修生を対象に、初学者向け動画プログラミング学習サービス「paizaラーニング」の有料コンテンツを無料で利用できる「paizaラーニング学校フリーパス」を提供します。プログラミングの自学自習やスキルチェックに効果的です。

学習歴のデジタル証明「オープンバッジ」

- ・オープンバッジの発行希望の確認は各プログラム履修生を対象に同志社ポータルにて案内します。
- ・発行を希望した場合、同志社データサイエンス・AI教育プログラムのすべてのプログラムでの発行を希望したものとみなし、プログラ

ム毎の発行希望の連絡は不要です。

- ・プログラムの必要単位を満たし、かつ、発行を希望した学生を対象に、各学期の成績通知日から3営業日以内に発行作業を行います。オープンバッジの受領手順は同志社ポータルにて案内します。



同志社データサイエンス・AI教育プログラム オープンバッジ

初学者向け動画プログラミング学習サービス「paizaラーニング」

- ・paizaラーニング学校フリーパス利用申請の受付はプログラム履修生を対象に同志社ポータルにて案内します。
- ・利用開始にはpaizaのユーザー登録と、利用申請後に配布されるクーポンコードの適用が必要です。
- ・学校フリーパスは年度末まで利用可能です。翌年度以降も利用を希望する場合は、再度の利用申請が必要となります。申請方法は対象者に同志社ポータルにて案内します。

履修状況の確認

- ・プログラムの履修状況は、以下のいずれかで確認できます。なお、在学中に修了要件を満たしても、プログラムの修了が認められるのは卒業が確定した時点です。ただし、オープンバッジは卒業の可否に関わらず修了要件を満たせば発行が可能になります。
 - DUETの「成績・履修状況」→「その他教育プログラム」
 - 成績通知書の「学業に関する事項」欄

履修中：大学がプログラム申請の一括登録をした状態（当該科目及び選択科目の単位修得状況は問わない）。

修了見込：大学がプログラム申請を一括登録し、かつ、プログラム修了に必要な科目を登録している状態。

単位修得：在学中にプログラム修了に必要な単位をすべて修得した状態。

修了：在学中にプログラム修了に必要な単位をすべて修得し、卒業が確定した状態。

未修了：プログラム修了に必要な単位を修得せずに、卒業が確定した状態。

- ・「単位修得」の状態になれば、本プログラムの学びを終え、必要な知識やスキルを身に付けたことになり、対外的にアピールすることも可能で、オープンバッジの発行が可能になります。

リテラシーレベル

文系理系を問わず、「データを読む、説明する、扱う」といった基本スキルを身に付けるとともに、社会の変化、社会におけるデータ・AIの活用領域と利活用例、利活用におけるさまざまな留意事項を理解します。なお、本プログラムは、デジタル社会で活躍する人材に必要な教育を全国の大学に普及させるために設置した「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム」のモデルカリキュラムに準拠した構成となり、令和5年度文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の認定プログラムです（認定の有効期限：令和10年3月31日まで）。

リテラシーレベル プログラム構成

	科目名	科目区分	必要単位数
必修科目	データサイエンス概論	自然・人間科学系科目	2単位
選択科目	Statistics for the Social Sciences and Humanities	国際教養科目	4単位
	論理的思考の基礎(1)、論理的思考の基礎(2)、論理的思考の応用(1)、論理的思考の応用(2)	人文科学系科目	
	数学1、数学2、データサイエンス1、データサイエンス2、サイバーセキュリティ入門、数学、自然科学特論* *自然科学特論は数学クラスのみが対象	自然・人間科学系科目	

※必修科目、選択科目についてすべて配当年次は「1～」、単位数は「2単位」

プログラムの修了要件

- ・必修科目「データサイエンス概論」2単位、選択科目の中から2科目4単位以上、計3科目6単位以上を修得した場合、卒業時にプログラム修了が認められます。

プログラムの登録申請

- ・必修科目「データサイエンス概論」を登録し、履修中止せずに受講を続けた者について、本プログラムに申請したものとみなします(当該科目の不合格者も含む)。なお、各学期の履修中止期間から約1週間後に大学が一括登録しますので、各自で本プログラムの登録申請を行う必要はありません。
- ・必修科目「データサイエンス概論」のみの履修も可能です。その場合においても、DUETや成績通知書にはプログラムを履修中である旨が表示されますが、卒業可否には影響しません。

注意事項

※本プログラムの修了証は発行されません。DUETまたは成績通知書の「学業に関する事項」欄で修了の可否を確認してください。なお、希望者には学習歴のデジタル証明「オープンバッジ」を発行します。

※修得した単位の卒業要件やカリキュラム上の取り扱いについては、所属する学部履修要項で確認してください。

※本プログラムは、完修希望者の科目登録を保証するものではありません。個々の科目のクラス定員や時間割などの都合により、受講できない場合があります。

応用基礎レベル

リテラシーレベルの教育を補完的・発展的に学び、データから意味を抽出し、現場にフィードバックする能力や、AIを活用し課題解決につながる基礎能力を修得し、自らの専門分野に数理・データサイエンス・AIを応用するための大局的な視点を獲得することを目標としています。なお、本プログラムもリテラシーレベル同様「数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム」のモデルカリキュラムに準拠した構成となっています。

応用基礎レベル プログラム構成

	科目名	科目区分	必要単位数
必修科目	データサイエンス概論、データサイエンス基礎、データエンジニアリング基礎、AI基礎	自然・人間科学系科目	8単位
選択科目	Statistics for the Social Sciences and Humanities	国際教養科目	4単位
	論理的思考の基礎(1)、論理的思考の基礎(2)、論理的思考の応用(1)、論理的思考の応用(2)	人文科学系科目	
	数学1、数学2、データサイエンス1、データサイエンス2、サイバーセキュリティ入門、数学、自然科学特論* *自然科学特論は数学クラスのみが対象	自然・人間科学系科目	

※必修科目、選択科目についてすべて配当年次は「1～」、単位数は「2単位」。

※必修科目の「データサイエンス基礎」、「データエンジニアリング基礎」、「AI基礎」の履修には「データサイエンス概論」の単位修得が必要。

プログラムの修了要件

- ・必修科目8単位、選択科目の中から2科目4単位以上、計6科目12単位以上を修得した場合、卒業時にプログラム修了が認められます。

プログラムの登録申請

- ・必修科目「データサイエンス基礎」、「データエンジニアリング基礎」、「AI基礎」のいずれかを登録し、履修中止せずに受講を続けた者について、本プログラムに申請したものとみなします(当該科目の不合格者も含む)。なお、各学期の履修中止期間から約1週間後に大学が一括登録しますので、各自で本プログラムの登録申請を行う必要はありません。
- ・必修科目「データサイエンス基礎」、「データエンジニアリング基礎」、「AI基礎」のみの履修も可能です。その場合においても、DUETや成績通知書にはプログラムを履修中である旨が表示されますが、卒業可否には影響しません。

注意事項

※本プログラムの修了証は発行されません。DUETまたは成績通知書の「学業に関する事項欄」で修了の可否を確認してください。なお、希望者には学習歴のデジタル証明「オープンバッジ」を発行します。

※修得した単位の卒業要件やカリキュラム上の取り扱いについては、所属する学部履修要項で確認してください。

※本プログラムは、完修希望者の科目登録を保証するものではありません。個々の科目のクラス定員や時間割などの都合により、受講できない場合があります。

同志社データサイエンス・AI教育プログラム
(DDASH)については、以下のURLからご覧ください。

<https://cgle.doshisha.ac.jp/cgle/ddash/overview.html>



全学共通教養教育科目の履修について

「全学共通教養教育科目」はそれぞれが自分の興味関心に応じた履修計画を立て、その上で登録履修するものです。この点がそれぞれの学部の専門科目と異なる点です。「それならなんでも自由に選んでいいのだ」と考える人がいるかもしれませんが、しかし、それでは皆さんの教養がばらばらで、統一性のないものになってしまいますか。

まずは、履修モデル(※)などを参考にして自分独自の履修計画を立ててみてください。それには次の5つの観点が大事です。

- 1) 建学の精神、キリスト教、宗教全般について考えてみよう!
- 2) 自分の専攻分野とは異なる分野を学んで、物事を多面的に見られるようにしよう!
- 3) 論理的思考力、コミュニケーション力をしっかり鍛えよう!
- 4) 4年間を通じて学ぶつもりで、バランスよく配置してみよう!
- 5) 総まとめに、自分の専攻分野について、その社会的な意味を考えてみよう!

※履修モデルは、全学共通教養教育センターのホームページに掲載しています。

<https://cgle.doshisha.ac.jp/cgle/syllabus/syllabus.html>



全学共通教養教育科目 登録にあたっての注意

1. 対象(学部・入学年度)について

この『履修要項』は、全学部の2015～2013年度生を対象としています。

2. 科目区分について

入学年度によって履修できる科目区分が異なります。履修できる科目区分を確認の上、開講科目一覧表を参照してください。(2015～2013年度生対象の科目区分は、15ページ参照)

3. 修得した単位について

修得した単位の取扱い(卒業必要単位への算入方法等)は、各学部によって異なります。また、登録にあたって、個別の条件が付加される場合がありますので、所属学部・学年の『履修要項』を参照し、十分に理解した上で登録してください。

4. 科目コードについて

科目登録の際、入学年度によって科目コードが異なる場合がありますので、注意してください。

5. 各クラスの授業形態について

それぞれのクラスがどのような授業形態(面接授業、遠隔授業など)で行われるのかは、シラバスで確認してください。

6. 「先行登録科目」の登録について

「先行登録科目」の登録手続きについては、各学部『登録要領』で確認してください。

7. 「外国語教育科目」の登録について

「外国語教育科目」は、学部・学科によってクラスが指定されている科目や先行登録が行われる科目があります。詳細は各学部『登録要領』で確認してください。また、クラスコード(***)、担当者、校地、期間時間、履修条件などについては、各学部『登録要領』を参照してください。

8. 「保健体育科目」の登録について

「保健体育科目」は、先行登録が行われる科目があります。詳細は各学部『登録要領』で確認してください。また、クラスコード(***)、担当者、校地、期間時間、履修条件などについては、各学部『登録要領』を参照してください。

9. 「大学のまち交流センター(キャンパスプラザ京都)」で実施される科目について

「大学のまち交流センター(キャンパスプラザ京都)」で実施される科目は、本学と講義時間帯が異なるため、前後に今出川校地開講科目を登録する場合は20分間の移動時間、京田辺校地開講科目を登録する場合は50分間の移動時間を確保しなければ登録できません。また、本学休講日に授業が行われることもあります。

10. クラス分割及び登録クラスの変更について

登録の結果、受講生が多数となり適切な授業運営が不可能であると判断された場合は、クラスを分割し、時間割上履修可能な他の曜日講時に登録を移す措置をとることがあります。

11. 掲示板について

「全学共通教養教育科目」の掲示板は以下のとおりです。

京田辺校地：知真館1号館1階通路

今出川校地：良心館東側<今出川キャンパス>

：尋真館1階南側<新町キャンパス>

12. 受講に対する配慮について

「見る」「聴く」「話す」「四肢を使って作業する」など、心身の機能障がいのため「社会的障壁」となる内容を含む科目(演習、実験、実習、語学など)については、「合理的配慮」として代替措置をとることが可能なものがあります。

登録前に、学部・研究科事務室までご相談ください。

2024年度からの学年暦についての注意

授業1週目(DO Week)と授業15週目のオンデマンド配信の受講方法について

2024年度からの新学年暦では、通常の教室での授業を13週の授業期間に受講し、残り2週分の授業はオンデマンドで受講することを基本とします。授業1週目(DO Week)のオンデマンド配信はシラバスからURLを確認して受講の上、指示された課題等に取り組んでください。具体的な受講手順については大学HPに掲載しています。以下URLもしくはQRコードから詳細を確認してください。

また、授業15週目のオンデマンド配信を含めて、授業2週目以降に行われるオンデマンド配信の受講方法については科目担当者からの指示に従ってください。

■2024年度からの学年暦に関するホームページ

https://www.doshisha.ac.jp/students/new_calender/index.html



遠隔授業(ネット配信授業)の卒業必要単位数の上限に注意!

同志社大学学則第9条の5では、文部科学省令である大学設置基準に規定されている遠隔授業の卒業必要単位数への算入上限を規定しており、学修支援システムDUETやシラバスに掲載している「学則第9条の5対象」は履修中の科目、もしくは単位修得済の科目がその「対象」であるか「対象外」であるかを示すものです。

本学では、2023年度までは新型コロナウイルス感染症における特例措置等により、すべての科目を「学則第9条の5」の「対象外」としてしています。これにより、すべての修得単位が卒業必要単位数へ算入されるため、この表示に留意する必要はありませんでしたが、2024年度以降は特例措置の適用がなくなるため、この項目に留意して履修計画を立てる必要があります。

所属する学部によって卒業必要単位数への算入上限単位数が決まっており、各科目が「対象」か「対象外」についてはシラバスで確認してください。詳細については以下URLもしくはQRコードから確認してください。

■「学則第9条の5対象」に関するホームページ

<https://duet-man.doshisha.ac.jp/student/article9-5.pdf>



全学共通教養教育科目 開講科目

- ・同志社科目
- ・キャリア形成支援科目
- ・国際教養科目
- ・人文科学系科目
- ・社会科学系科目
- ・自然・人間科学系科目
- ・先端・複合領域科目
- ・プロジェクト科目
- ・外国語教育科目
- ・保健体育科目

開講科目一覧表の見方について

登録コード

科目を特定する「科目コード」とクラスを特定する「クラスコード」で構成されています。クラスコードが記載されている科目は、科目登録の際、両方のコードを正しく入力してください。

校 地

授業が開講される校地を表します。

- 田 : 京田辺校地
- 今 : 今出川校地
- 交流セ : 交流センター
- リトリート : 同志社びわこリトリートセンター
- インタ : インターネット授業
- 海外 : 海外キャンパス

期間・時間

授業が開講される期間・時間を表します。

<例>

- 春2 : 春学期に開講、週2時間（1講時分）
- 秋2 : 秋学期に開講、週2時間（1講時分）
- 春・秋2 : 春学期・秋学期を通して開講、週2時間（1講時分）
- 春・集中 : 春学期に集中科目として開講
- 秋・集中 : 秋学期に集中科目として開講
- 通年集中 : 春学期・秋学期にわたって、集中科目として開講

配当年次

履修できる学年を示します。

<例>

- 2～: 2年次以上で履修できる科目です。

備 考

「先行登録」、「学部クラス指定」、「履修対象年度」などの注意事項が記載されています。

科目区分	配当年次	登録コード 科目コード クラスコード	科目名・クラス・サブタイトル	単位	担当者	校地	期間時間	備考						
同志社科目	1~	16001000	501 建学の精神とキリスト教-501 新島襄・同志社・キリスト教の基礎	2	三輪 地塩	イナ	春2	※経済学部生は「同志社科目」を登録することが望ましい。 ※商学部生は「同志社科目」を1科目以上登録することが望ましい。 ※理工学部生は「同志社科目」より2単位以上修得しなければならない。 (詳細は理工学部「履修要項」を参照) ※心理学部生は「同志社科目」および「宗教学(1)」「宗教学(2)」より4単位以上修得しなければならない。(詳細は心理学部「履修要項」を参照) 建学の精神とキリスト教 先行登録科目である。詳細については「登録要領」を参照。 神学部生は登録できない。						
			502 建学の精神とキリスト教-502 新島襄・同志社・キリスト教の基礎		木谷 佳楠									
			503 建学の精神とキリスト教-503 新島襄・同志社・キリスト教の基礎		村山 盛葦									
			504 建学の精神とキリスト教-504 新島襄・同志社・キリスト教の基礎		村上 みか									
			505 建学の精神とキリスト教-505 新島襄・同志社・キリスト教の基礎		中野 泰治									
			506 建学の精神とキリスト教-506 新島襄・同志社・キリスト教の基礎		木谷 佳楠									
			507 建学の精神とキリスト教-507 新島襄・同志社・キリスト教の基礎		三輪 地塩									
			508 建学の精神とキリスト教-508 新島襄・同志社・キリスト教の基礎		黒柳 志仁									
	1~	16000011	001 キリスト教と人間 1-1 旧約聖書の視点から	2	李 元重	田	今		春2					
			002 キリスト教と人間 1-2 旧約聖書の視点から		竹ヶ原政輝									
			051 キリスト教と人間 1-51 旧約聖書の視点から		越川 弘英									
			052 キリスト教と人間 1-52 旧約聖書の視点から		越川 弘英									
			053 キリスト教と人間 1-53 旧約聖書の視点から		菅根 信彦									
			061 キリスト教と人間 1-61 旧約聖書の視点から		森田 喜基									
			501 キリスト教と人間 1-501 旧約聖書の視点から		李 元重									
			511 キリスト教と人間 1-511 旧約聖書の視点から		森田 喜基									
			16000012		011 キリスト教と人間 2-11 新約聖書の視点から					2	李 元重	田	今	秋2
					012 キリスト教と人間 2-12 新約聖書の視点から						竹ヶ原政輝			
					051 キリスト教と人間 2-51 新約聖書の視点から						森田 喜基			
	061 キリスト教と人間 2-61 新約聖書の視点から	越川 弘英												
	062 キリスト教と人間 2-62 新約聖書の視点から	越川 弘英												
	063 キリスト教と人間 2-63 新約聖書の視点から	菅根 信彦												
	501 キリスト教と人間 2-501 新約聖書の視点から	森田 喜基												
	511 キリスト教と人間 2-511 新約聖書の視点から	李 元重												
	16000017	001 キリスト教とは何か 1	2	休 講										
		001 キリスト教とは何か 2		休 講										
		001 キリスト教会と現代文化		休 講										
		001 人物から学ぶキリスト教の歴史		休 講										
001 キリスト教の歴史と同志社-1 宗教改革から現代まで		森田 喜基		田				春2						
061 キリスト教の歴史と同志社-61 宗教改革から現代まで		李 元重		今				秋2						
501 キリスト教の歴史と同志社-501 宗教改革から現代まで		森田 喜基		イナ				春2						
511 キリスト教の歴史と同志社-511 宗教改革から現代まで		李 元重		イナ				秋2						
001 アーモスト大学とリベラルアーツ教育		休 講												
16002000		001 同志社の歴史-1 資料の再検討から考える同志社の通史		2				小枝 弘和	田	秋2	同志社の歴史 2013年度以前生は登録できない。			
051 同志社の歴史-51 資料の再検討から考える同志社の通史		2		小枝 弘和				今	春2					
キャリア形成支援科目	1~	16000100	001 キャリア開発と学生生活-1 働くことは生きること	2	阪田真己子	田	春2	キャリア開発と学生生活 先行登録科目である。詳細については「登録要領」を参照。 キャリア開発の課題と方法 先行登録科目である。詳細については「登録要領」を参照。 労働市場の動向とキャリア形成 先行登録科目である。詳細については「登録要領」を参照。						
			051 キャリア開発と学生生活-51 働くことは生きること						今					
	16000101	001 キャリア開発の課題と方法-1	2	浮村 真弓	田	今	秋2							
		051 キャリア開発の課題と方法-51 将来の仕事と職業生活に向けて		竹田 宗継 松川 晴美 宮本 大 樋口 純平 中道 一心										
	16000104	001 労働市場の動向とキャリア形成-1 社会の変化に対応するために	2	野村 友和	田	今	春2							
		051 労働市場の動向とキャリア形成-51 社会の変化に対応するために												
1・2のみ			インターンシップ入門 キャリア形成について考える	2										

同志社科目

キャリア形成支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然科学系科目

先端・複合領域科目

プロジェクト科目

外国語教育科目

保健体育科目

科目区分	配当年次	登録コード		科目名・クラス・サブタイトル	単位	担当者	校地	期間時間	備考	
		科目コード	クラスコード							
キャリア形成支援科目	1~	16000105		メガトレンドを読む 今後30年の日本そして世界の姿	2	竹下 敦宣 福田 芳久 竹田 忍 堀田 昇吾 宮内 禎一 松尾 博文 小竹 洋之 山田 剛 福山 敬太 伊集院 敦 大岩佐和子 吉田ありさ 荻野 雅史 八木谷勝美 尾島 島雄 滝沢 英人	インタ	秋2	メガトレンドを読む 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。	
				001		SDGsで考える社会課題とキャリア形成-1 世界をよりよく変革するために				2
	051	SDGsで考える社会課題とキャリア形成-51 世界をよりよく変革するために	2	寺井 基博 上田 眞士 三山 雅子	今	春2	働くということ 先行登録科目である。 詳細については『登録要領』を参照。			
	2~	16009100						働くということ 現代の労働組合	2	
	2・3のみ			キャリア形成とインターンシップ-1 Internship on Campus	2					
				キャリア形成とインターンシップ-51 Internship on Campus						
1~	16000103	201	キャリア形成とインターンシップ-201	2	多田 実 関 智宏	交流七	通年集中		キャリア形成とインターンシップ-201 科目登録前に必ず科目説明動画を視聴すること。 詳細については『登録要領』を参照。 商、政策学部生は登録科目が異なるため、『登録要領』を参照。	
国際教養科目	1~	16000222	002	国際教養基礎論 1-2 中国の歴史と東部ユーラシア	2	向 正樹	インタ	春2	※国際教養基礎論 1-2、比較言語文化論 1-2、地域言語文化論 1-2、メタ言語文化論 1-2は、2025年度から廃止予定。 国際教養基礎論 1-2 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 国際教養基礎論 1-51 法・商・政策学部生は登録できない。 国際教養基礎論 1-53 社会・経済・商学部生は登録できない。 国際教養基礎論 1-55 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 国際教養基礎論 1-58・59 神・文・法・政策・グローバル地域文化学部生は登録できない。	
			051	国際教養基礎論 1-51 植民地主義の克服を目指して		藤井幸之助	今			
			052	国際教養基礎論 1-52 ロシアの歴史		立石 洋子				
			053	国際教養基礎論 1-53 中国原論		副島 一郎	インタ			
			055	国際教養基礎論 1-55 映画で学ぶ21世紀アメリカ		國友 万裕				
			056	国際教養基礎論 1-56 ラテンアメリカ地域の生活と文化		山内 熱人	今			
			057	国際教養基礎論 1-57 オセアニアの人と文化		佐野 文哉				
			058	国際教養基礎論 1-58 イタリアのオペラと詩の韻律		柱本 元彦	今			
			059	国際教養基礎論 1-59 アメリカの男性史		水島新太郎				
	16000223	001	国際教養基礎論 2-1 ドイツの移民と統合政策	渡邊 紗代	田	2	インタ	秋2	国際教養基礎論 2-51 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。	
		051	国際教養基礎論 2-51 精神分析理論の成立とその背景	藤井あゆみ	今					
		053	国際教養基礎論 2-53 近現代連邦国家と先住民-北米(アメリカ、カナダ) 先住民の事例から考える	岩崎 佳孝	今					
	16000224	001	比較言語文化論 1-1 ドイツ語における言語変化	薦田 奈美	2	田	インタ	春2	比較言語文化論 1-51 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 比較言語文化論 1-53 授業は英語で行われる。	
		002	比較言語文化論 1-2 聖書の翻訳	宮田 玲						
		051	比較言語文化論 1-51 東アジアと朝鮮半島	浅井 良純						今
		052	比較言語文化論 1-52 カントリー音楽からアメリカと日本を知る	永富 真梨						
		053	比較言語文化論 1-53 女性と平和活動	ESTA TINA OTTMAN						
	16000225	001	比較言語文化論 2-1 ことばの意味とコンテキスト	塩田 英子	2	田	インタ	秋2		
		002	比較言語文化論 2-2 迷宮の思想：古典古代から17世紀まで	折井 穂積						
		052	比較言語文化論 2-52 南北アメリカの移民と労働	佐藤 夏樹						今
	16000226	052	地域言語文化論 1-52 南北朝鮮における言語政策	コ ヨンジ	2	今	春2			
	16000227	001	地域言語文化論 2-1 イギリスの芸術	宮崎 章	2	田	インタ	秋2		
		051	地域言語文化論 2-51 ロシア文化論	NECHAEVA ANGELINA						今
	16000228	001	メタ言語文化論 1-1 言語と社会	山路 順子	2	田	インタ	春2		
051		メタ言語文化論 1-51 西洋古典文学と現代文化	西塔由貴子	今						
16000229	001	メタ言語文化論 2-1 考える人の事典、辞書~インターネットとの共存~	平尾 浩一	2	田	インタ	秋2			
	051	メタ言語文化論 2-51 現代レトリック論入門	笹倉 明子						今	

15-13年度生

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然科学系科目
自然・人間

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

科目区分	配当 年次	登録コード 科目コード クラスコード	科目名・クラス・サブタイトル	単位	担当者	校地	期間 時間	備考	
国際 教 養 科 目	2~	16000200	ジョイント・セミナー比較文化論	4	和泉 真澄 NOBORU TOMONARI	今	秋4	ジョイント・セミナー比較文化論 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 授業は英語で行われる。	
			多文化コミュニケーション学の基礎	2	休 講				
			多文化コミュニケーション学の応用	2	休 講				
			異文化間コミュニケーションA	2	休 講				
				異文化間コミュニケーションB	2	休 講			
				人から人間への道	2	休 講			
		16000211	051	アイデンティティの社会格差-51	2	安武 留美	今	春2	日本の伝統と美 日本の伝統と文化 日本の伝統と芸術 日本の伝統と音楽 日本の伝統と芸術 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。別途費用が必要な科目もある。注意すること。上記5科目の外国人留学生および国際教養コース(ILA)の学生の登録については、所属学部の『履修要項』日本語・日本文化教育科目履修の手引きを参照。 日本の伝統と美 授業は日本語と場合により英語で行われる。 日本の伝統と芸術-53 授業はコリア語で行われる。 日本の伝統と芸術-1・2・53・54 授業は英語で行われる。
	052			アイデンティティの社会格差-52		GARTH WARRIES		秋2	
		16000203	051	日本の伝統と美-51 いけばなを知る	2	芦田 一寿	今	春2	
	052			日本の伝統と美-52 いけばなを感じる		芦田 一寿		秋2	
		16000204	001	日本の伝統と文化-1 日本人の見た花の美しさ	2	芦田 一寿	田	春2	
	002			日本の伝統と文化-2 日本人の見た花の美しさ		芦田 一寿		秋2	
	003			日本の伝統と文化-3 きもの		榎木 良子		春2	
	004			日本の伝統と文化-4 きもの		榎木 良子		秋2	
			051	日本の伝統と文化-51 日本人の見た花の美しさ		芦田 一寿	今	春2	
			052	日本の伝統と文化-52 日本人の見た花の美しさ		芦田 一寿	秋2		
			053	日本の伝統と文化-53 着物		榎木 良子	春2		
			054	日本の伝統と文化-54 着物		榎木 良子	秋2		
		16000205	051	日本の伝統と芸術-51 雅楽	2	中川 久公	今	春2	
	052			日本の伝統と芸術-52 雅楽		中川 久公		秋2	
	053		日本の伝統と芸術-53 仮名手本忠臣蔵を読む	高 永珍		春2			
		16000206	051	日本の伝統と音楽-51 音楽を通してみる日本の伝統文化	2	河村 晴久	今	春2	
	052			日本の伝統と音楽-52 音楽を通してみる日本の伝統文化		河村 晴久		秋2	
		16000207	001	日本の伝統と芸術-1 日本庭園の世界	2	IGNACIO ARISTIMUNO	田	春2	
	002			日本の伝統と芸術-2 日本建築の世界		IGNACIO ARISTIMUNO		秋2	
			053	日本の伝統と芸術-53 日本庭園の世界		IGNACIO ARISTIMUNO	今	春2	
			054	日本の伝統と芸術-54 日本建築の世界		IGNACIO ARISTIMUNO	秋2		
		16000214	051	日本とアジア1-51 日中文化交流	2	李 長波	今	春2	
				051		日本とアジア2-51 近代とは何か?		李 長波	
			052	日本とアジア2-52 日韓文化交流	2	高 永珍	今	秋2	
		16000212	001	日本の思想・宗教1-1 禅の世界	2	IGNACIO ARISTIMUNO	田	春2	
				052		日本の思想・宗教1-52 禅の世界		IGNACIO ARISTIMUNO	
		16000213	001	日本の思想・宗教2-1 日本と仏教の世界	2	IGNACIO ARISTIMUNO	田	秋2	
				052		日本の思想・宗教2-52 日本と仏教の世界		IGNACIO ARISTIMUNO	
		16000218	051	日本の社会事情-51	2	WILLIAM BRADLEY	今	春2	
				052		日本の社会事情-52		WILLIAM BRADLEY	
		16000216	051	Japan Today 1-51	2	OMAR YUSEF BAKER	今	春2	
				052		Japan Today 1-52		OMAR YUSEF BAKER	
		16000217	051	Japan Today 2-51	2	OMAR YUSEF BAKER	今	春2	
				052		Japan Today 2-52		OMAR YUSEF BAKER	
			スタンフォード大学科目	2		今	春2		
			スタンフォード大学科目	2		今	秋2		
			A K P 科目	2		今	春2		
			A K P 科目	2		今	秋2		
			K C J S 科目	2		今	春2		
			K C J S 科目	2		今	秋2		
	16606500	051	チュービンゲン大学科目-51 日本における民族的マイノリティとマジョリティ	2	MICHAEL WACHUTKA	今	春2		
			052		チュービンゲン大学科目-52 過去と現在の日常民間信仰		MICHAEL WACHUTKA	秋2	
	16002200	001	日本近現代史-1 近現代日本における国民と他者	2	井岡 康時	田	春2		
			002		日本近現代史-2 阪神地方の都市史を素材として		辻川 敦	秋2	
		051	日本近現代史-51 近現代日本における国民と他者		井岡 康時	今	春2		
		052	日本近現代史-52 阪神地方の都市史を素材として		辻川 敦	秋2			
	16002201	001	世界近現代史-1 東アジア近現代史の相関及び他地域との比較	2	成田 千尋	田	春2		
			002		世界近現代史-2 東アジア近現代史の相関及び他地域との比較		成田 千尋	秋2	
		051	世界近現代史-51 近代帝国の形成と解体		藤田 拓之	今	春2		
		052	世界近現代史-52 近代帝国の形成と解体		藤田 拓之	秋2			

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然科学系科目
自然・人間

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

科目区分	配当年次	登録コード		科目名・クラス・サブタイトル	単位	担当者	校地	期間時間	備考
		科目コード	クラスコード						
国際 教養 科目	1~	16001200	001	世界の宗教-1 諸宗教の世界観とエートス	2	三宅 威仁 村山 盛葦 平岡光太郎 朝香 知己 中野 泰治 青木 保憲 森山 央朗 西 直美 住家 正芳 大島 智靖 崔 弘徳	田	春2	世界の宗教-1 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 「世界の宗教-51」をテレビ配信する講義である。
			051	世界の宗教-51 諸宗教の世界観とエートス		三宅 威仁 村山 盛葦 平岡光太郎 朝香 知己 中野 泰治 青木 保憲 森山 央朗 西 直美 住家 正芳 大島 智靖 崔 弘徳			
	2~	16000251		Intercultural Studies ドイツとEU,日本間の異文化理解	2	和田 喜彦	今	春集中	Intercultural Studies EUキャンパス特別講義 授業は同志社大学テュービンゲンEUキャンパスで実施する。詳細は『登録要領』の「 semester スタープログラム・ドイツ語 I・II」のページを参照。
		16000252	001	EUキャンパス特別講義-1 ドイツおよびEUの現代的課題を見据えて	2	和田 喜彦	今	春集中	
			003	EUキャンパス特別講義-3 Intercultural Business Communication Challenges		SARA HASHEM	海外		
	16000700	051	Freshman "Go Global" Program-51 ベトナム文化・歴史・経済を「体感」するスタディツアー：SDGsについて考える		2	有井 健 木田 佳男	今	秋2	科目コード 16000700 ~ 16000732 および16000216 ~ 16000217は国際 教養コース(LA)の学生は登録できない。 Freshman Go Global Program 選考試験を実施する。詳細については『登録要領』を参照。
			052	Freshman "Go Global" Program-52 ヨーロッパの伝統と今を体感するドイツフィールドワーク		中村 拓也			
	16000701		Mid-college "Be Strong" Program		4	土井ベンソン アンヤ 村田 晃嗣 八木 匡 根岸 祥子 二村 太郎	今	春4	Mid-college Be Strong Program 選考試験を実施する。詳細については『登録要領』を参照。
	16000702	001	Introduction to Japanese Culture in the Global Context-1		2	土井ベンソン アンヤ	今	春2	授業は英語で行われる。 先行登録科目である。 詳細については『登録要領』を参照。
			Introduction to Japanese Culture in the Global Context-2			土井ベンソン アンヤ		秋2	
			Introduction to Japanese Culture in the Global Context-51			土井ベンソン アンヤ		春2	
			Introduction to Japanese Culture in the Global Context-52			DIAZ SANCHO IVAN		秋2	
	16000703	001	Introduction to Japanese Society in the Global Context-1		2	ROBERT WILLIAM ASPINALL	今	春2	
			Introduction to Japanese Society in the Global Context-51			ROBERT WILLIAM ASPINALL		春2	
			Introduction to Japanese Society in the Global Context-52			ROBERT WILLIAM ASPINALL		秋2	
	16000704	001	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context-1		2	有井 健	今	春2	
			Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context-2			有井 健		秋2	
			Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context-51			有井 健		春2	
			Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context-52			有井 健		秋2	
	16000705	001	Humanities and Global Issues-1		2	土井ベンソン アンヤ	今	秋2	
			Humanities and Global Issues-51			土井ベンソン アンヤ		春2	
			Humanities and Global Issues-52			ESTA TINA OTTMAN		秋2	
	16000706		Social Sciences and Global Issues		2	ROBERT WILLIAM ASPINALL	今	秋2	
	16000707	001	Natural Sciences and Global Issues-1		2	有井 健	今	春2	
			Natural Sciences and Global Issues-51			有井 健		春2	
	16000708	051	Japan in Modern World History-51		2	IGNACIO ARISTIMUNO	今	春2	
			Japan in Modern World History-52			DIAZ SANCHO IVAN		秋2	
	16000709	051	International Relations in the Postwar Era-51		2	GARTH WARRIES	今	春2	
			International Relations in the Postwar Era-52			GARTH WARRIES		秋2	
	16000710	001	Issues in Japanese Culture-1		2	土井ベンソン アンヤ	今	春2	
Issues in Japanese Culture-51			IGNACIO ARISTIMUNO	春2					
Issues in Japanese Culture-52			土井ベンソン アンヤ	秋2					
16000715	001	Democracy and Politics : A Comparative Perspective-1		2	ROBERT WILLIAM ASPINALL	今	秋2		
		Democracy and Politics : A Comparative Perspective-51			ROBERT WILLIAM ASPINALL		秋2		

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然科学系科目
自然・人間

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

科目区分	配当年次	登録コード 科目コード クラスコード	科目名・クラス・サブタイトル	単位	担当者	校地	期間時間	備考		
国際教養科目	1~	16000716	001	Education in the Age of Globalization-1	2	ROBERT WILLIAM ASPINALL	田	春2	授業は英語で行われる。先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 Advanced Seminar 1・2・3 選考試験を実施する。詳細については『登録要領』を参照。なお、2、52クラスは別途費用が必要であるため注意すること。 京都科目 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。なお、2、52クラスは別途費用が必要であるため注意すること。 クールジャパン科目 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 クリエイティブ・ジャパン科目 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。	
			051	Education in the Age of Globalization-51		ROBERT WILLIAM ASPINALL	今			
		16000717	001	Issues in Intercultural Communication-1	2	ROBERT WILLIAM ASPINALL	田	秋2		
			051	Issues in Intercultural Communication-51		ROBERT WILLIAM ASPINALL	今			
		16000718		Economy and Business in the Global Context 1	2	森 宏一郎	今	春2		
		16000719		Economy and Business in the Global Context 2	2	森 宏一郎	今	秋2		
		16000731		Principles of Economics	2	森 宏一郎	今	春2		
		16000732		Environmental Economics and Sustainability	2	森 宏一郎	今	秋2		
		16000721	051	Critical Social Issues in Contemporary Japan 2 -51	2	WILLIAM BRADLEY	今	春2		
			052	Critical Social Issues in Contemporary Japan 2 -52		WILLIAM BRADLEY				秋2
		16000724		Statistics for the Social Sciences and Humanities	2	MYGDALSKYY VOLODYMYR	今	秋2		
		16000725		Introduction to Computer Science and Information Technology	2	MYGDALSKYY VOLODYMYR	今	春2		
				Human Science in the Global Age	2	休 講				
		16000727		Introduction to Quantitative Data Analysis	2	BENJAMIN POIGNARD	今	秋2		
		16000728		Conservation of Japanese Nature and Environment	2	有井 健	今	秋2		
		16000729		Mathematics and its History	2	VILLE JOONAS JOHANNES SYRJAEINEN	今	春2		
		16000730		Science of Natural Disasters	2	有井 健	今	春2		
		16091201	051	Advanced Seminar 1 -51	2	土井ベンソン アンヤ	今	春2		
			052	Advanced Seminar 1 -52		土井ベンソン アンヤ				秋2
		16091202	051	Advanced Seminar 2 -51	2	ROBERT WILLIAM ASPINALL	今	春2		
			052	Advanced Seminar 2 -52		ROBERT WILLIAM ASPINALL				秋2
		16091203	001	Advanced Seminar 3 -1	2	有井 健	田	秋2		
			051	Advanced Seminar 3 -51		有井 健				今
		16607001	001	京都科目-1 京都学概論 (京の祭と年中行事)	2	森田 玲	田	秋2		
			051	京都科目-51 京都学概論 (京の祭と年中行事)		森田 玲				今
		16607002	002	京都科目-2 華道から見る京都の伝統文化の発展	2	塩野 敬子	田	春2		
			052	京都科目-52 華道から見る京都の伝統文化の発展		高林 佑丞				今
		16607003	003	京都科目-3 現代町家論 京都のまちと暮らしを知る	2	小島富佐江 丹羽 結花 惣司めぐみ	田	春2		
			053	京都科目-53 現代町家論 京都のまちと暮らしを知る		小島富佐江 丹羽 結花 惣司めぐみ				今
		16607004	504	京都科目-504 伝統芸能と祭礼	2	北見真智子	インタ	春2		
		16607005	505	京都科目-505 京都の内外における日本の茶文化	2	佐伯 順子	今	春集中		
		16607006	006	京都科目-6 京都文化の本質	2	八木 匡 河村 晴久 中原 桜甫 森田 玲 松山 大耕	田	秋2		
			056	京都科目-56 京都文化の本質		今				
		2~	16607007	057	京都科目-57 クリエイティブ伝統産業と文化イノベーション	2	北林 功	今		春2
		1~	16607304	002	クールジャパン科目-2 日本映画	2	廣瀬 純	田		春2
052	クールジャパン科目-52 日本映画			今						
503	クールジャパン科目-503 ヒップホップを考える			インタ	春2					
2~	16607601	501	クリエイティブ・ジャパン科目-501 創造都市の政策と戦略	2	竹谷多賀子 山田 啓二 鈴木美和子	インタ	秋2			
人文科学系科目	1~	16002334	001	宗教学(1)-1 キリスト教の基礎知識	2	近藤 剛	田	宗教学(1)・宗教学(2) 文学部哲学科生は必修科目である。心理学部生は「同志社科目」および「宗教学(1)」「宗教学(2)」より4単位以上修得しなければならない。 宗教学(1)-51・53・55 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 宗教学(1)-54 法・商・グローバル地域文化学部生は登録できない。 宗教学(2)-51・53・55 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。		
			002	宗教学(1)-2 キリスト教の基礎知識		近藤 剛				
			051	宗教学(1)-51 宗教の再生		趙 芙蓉				
			053	宗教学(1)-53 近代日本の宗教思想【明治編】		喜多 源典				
			054	宗教学(1)-54 宗教と倫理		谷塚 巖				
			055	宗教学(1)-55 宗教と倫理		谷塚 巖				
		16002335	001	宗教学(2)-1 宗教と倫理	近藤 剛	田				
			002	宗教学(2)-2 宗教と倫理	近藤 剛					
			051	宗教学(2)-51 宗教とカリスマ性	趙 芙蓉					
			053	宗教学(2)-53 近代日本の宗教思想【大正・昭和編】	喜多 源典					
			054	宗教学(2)-54 宗教と言語	谷塚 巖					
		055	宗教学(2)-55 宗教と言語	谷塚 巖	今					

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然・人間
科学系科目

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

科目区分	配当年次	登録コード		科目名・クラス・サブタイトル	単位	担当者	校地	期間時間	備考		
		科目コード	クラスコード								
人文科学系科目	16002336	001		哲学(1)-1 西洋哲学史の古典を読む(プラトンからエラスムスまで)	2	石田 隆太	田	春2			
		002		哲学(1)-2 哲学入門I		服部 敬弘					
		051		哲学(1)-51 哲学入門		石井 基博					
		052		哲学(1)-52 現象学入門		中村 拓也					
		053		哲学(1)-53 現代社会において正義の意味するもの		藤森 寛					
		054		哲学(1)-54 哲学を通じて考えるI		樋口 雄哉					
		055		哲学(1)-55 「笑い」の哲学(1)		松岡健一郎					
		16002337	001			哲学(2)-1 西洋哲学史の古典を読む(デカルトからカントまで)	2			石田 隆太	田
			002			哲学(2)-2 哲学入門II				服部 敬弘	
			051			哲学(2)-51 哲学入門--人間とは何か				石井 基博	
			052			哲学(2)-52 科学哲学入門				中村 拓也	
			053			哲学(2)-53 生命倫理と環境倫理の批判的吟味				藤森 寛	
			054			哲学(2)-54 哲学を通じて考えるII				樋口 雄哉	
		16002338	001			倫理学(1)-1 倫理学入門	2			中村 拓也	田
	002			倫理学(1)-2 技術の倫理	鬼頭 葉子						
	051			倫理学(1)-51 倫理学入門	沼田 千恵						
	052			倫理学(1)-52 倫理学と良心	島田 喜行						
	053			倫理学(1)-53 幸福をめぐる考察	荒木 秀夫						
	054			倫理学(1)-54 「自分らしくあること」の倫理	大鳥居信行						
	16002339	001		倫理学(2)-1 生命倫理学入門	2	中村 拓也	田				
		002		倫理学(2)-2 動物倫理		鬼頭 葉子					
		051		倫理学(2)-51 応用倫理学入門		沼田 千恵					
		052		倫理学(2)-52 倫理学と社会		島田 喜行					
		053		倫理学(2)-53 義務をめぐる考察		荒木 秀夫					
		054		倫理学(2)-54 道義・道徳・倫理性とコンプライアンスをめぐる		大鳥居信行					
	16002340	001		論理学(1)-1 論理の図像的理解	2	新 茂之	田				
		051		論理学(1)-51 公理的集合論入門		新 茂之					
	16002341	001		論理学(2)-1 集合についての形式的理解	2	新 茂之	田				
		051		論理学(2)-51 幾何学の基礎		新 茂之					
	16002358	001		論理的思考の基礎(1)-1 日常言語で学ぶ論理的思考	2	下嶋 篤	田				
		002		論理的思考の基礎(1)-2 日常言語で学ぶ論理的思考		佐々木 崇					
		051		論理的思考の基礎(1)-51 日常言語で学ぶ論理的思考		野坂 宣正					
		052		論理的思考の基礎(1)-52 日常言語で学ぶ論理的思考		佐々木 崇					
	16002359	001		論理的思考の基礎(2)-1 論理言語で学ぶ論理的思考	2	野坂 宣正	田				
		051		論理的思考の基礎(2)-51 論理言語で学ぶ論理的思考		小川 雄					
		052		論理的思考の基礎(2)-52 論理言語で学ぶ論理的思考		新 茂之					
	16002360	001		論理的思考の応用(1)-1 論理外要因の認識と統制	2	大槻 晃右	田				
		002		論理的思考の応用(1)-2 論理外要因の認識と統制		佐々木 崇					
		051		論理的思考の応用(1)-51 論理外要因の認識と統制		野坂 宣正					
		052		論理的思考の応用(1)-52 論理外要因の認識と統制		下嶋 篤					
16002361	001		論理的思考の応用(2)-1 論理的コミュニケーションの技術	2	野坂 宣正	田					
	002		論理的思考の応用(2)-2 論理的コミュニケーションの技術		佐々木 崇						
	051		論理的思考の応用(2)-51 論理的コミュニケーションの技術		下嶋 篤						
	052		論理的思考の応用(2)-52 論理的コミュニケーションの技術		野坂 宣正						

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然科学系科目
自然・人間

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

論理的思考の基礎(1)
先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。

論理的思考の基礎(2)
先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。

論理的思考の応用(1)
先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。2013年度以前生は登録できない。

論理的思考の応用(2)
先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。2013年度以前生は登録できない。

科目区分	配当年次	登録コード 科目コード クラスコード	科目名・クラス・サブタイトル	単位	担当者	校地	期間時間	備考						
同志社科目	16002344	001	芸術学(1)-1 近現代日本の視覚文化	2	前川 志織	田	春2	芸術学(1)-51・52・54・55 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。						
		002	芸術学(1)-2 日本のグラフィック・デザイン史		熊倉 一紗									
		051	芸術学(1)-51 「芸術」とは何か?		立野 良介									
		052	芸術学(1)-52 芸術作品における美の多様性を楽しみましようー古代ギリシアから現代までー		土肥 泰子									
		053	芸術学(1)-53 ロマン主義と芸術		村上 真樹									
		054	芸術学(1)-54 キリスト教図像学		嶋谷 昭彦									
		055	芸術学(1)-55 写真の歴史と現在		高橋 千晶									
		058	芸術学(1)-58 「音楽作品」概念の歴史		船木 理悠									
		キャリア形成 支援科目	16002345		001				芸術学(2)-1 古典文学の絵画	2	村木 桂子	田	秋2	芸術学(2)-53・54 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。
					002				芸術学(2)-2 19世紀後半における西洋美術(象徴主義と世紀末美術)について		前田 朋美			
051	芸術学(2)-51 芸術作品を通した人間存在についての探求			今村美邦子										
052	芸術学(2)-52 芸術作品を通した人間存在についての探求			今村美邦子										
053	芸術学(2)-53 日本の近現代美術			高橋 千晶										
054	芸術学(2)-54 近代の芸術と芸術理論			立野 良介										
055	芸術学(2)-55 西洋美術における古代ギリシャ・ローマ文化の位置づけ			小松原 郁										
056	芸術学(2)-56 西洋美術と美的仮象の歴史			高藤 大樹										
国際教養科目	16002346	001	日本史(1)-1 日本列島における古代国家形成	2	若林 邦彦	田	春2	日本史(1)・日本史(2) 文学部文化史学科生は登録することが望ましい。						
		002	日本史(1)-2 江戸時代の身分社会ー近年解明されてきたことを中心にー		小林ひろみ									
		051	日本史(1)-51 社会と救済		小林 丈広									
		052	日本史(1)-52 中世における「公儀」と「宗門」		前田 一郎									
		053	日本史(1)-53 中世の戦乱と秩序		山本 晋平									
		054	日本史(1)-54 武士・武家政権と京都(1)		山田 徹									
		055	日本史(1)-55 日本古代の宗教文化		松本 公一									
		056	日本史(1)-56 近世・近代の日本思想史		小田 龍哉									
		057	日本史(1)-57 日本古代の祭祀と法(1)		久禮 旦雄									
		058	日本史(1)-58 日本列島における古代国家形成		若林 邦彦									
		059	日本史(1)-59 医学からのアプローチー共同体としての思想ー		近藤 裕樹									
		060	日本史(1)-60 天皇家の親戚関係の歴史		岩田真由子									
		061	日本史(1)-61 近代京都の歴史		川口 朋子									
人文科学系科目	16002347	001	日本史(2)-1 同志社前史	2	浜中 邦弘	田	秋2	日本史(2)-52 法・商・グローバル地域文化学部生は登録できない。						
		002	日本史(2)-2 大正期の社会と思想・文化思潮		久野譲太郎									
		051	日本史(2)-51 博覧会をめぐって		小林 丈広									
		052	日本史(2)-52 近世における「公儀」と「宗門」		前田 一郎									
		053	日本史(2)-53 近世日本の社会と思想ー17世紀を中心にー		山本 晋平									
		054	日本史(2)-54 武士・武家政権と京都(2)		山田 徹									
		055	日本史(2)-55 日本中世・近世の宗教文化		松本 公一									
		056	日本史(2)-56 映画『男はつらいよ』シリーズでみる戦後日本史		小田 龍哉									
		057	日本史(2)-57 日本古代の祭祀と法(2)		久禮 旦雄									
		058	日本史(2)-58 同志社前史		浜中 邦弘									
		059	日本史(2)-59 医学からのアプローチー個人としての思想ー		近藤 裕樹									
		060	日本史(2)-60 日本の家族史・ライフサイクルの歴史		岩田真由子									
		061	日本史(2)-61 資料で読む戦後日本のあゆみ		川口 朋子									
社会科学系科目	16002348	001	東洋史(1)-1 伝統中国社会の多面的な構造を理解する	2	細井 和彦	田	春2	東洋史(1)・東洋史(2) 文学部文化史学科生は登録することが望ましい。						
		051	東洋史(1)-51 東アジア史・東南アジア史概説(1)		遠藤 総史									
		052	東洋史(1)-52 中国近現代史理解のための基礎知識I		荻 恵里子									
自然・人間 科学系科目	16002349	001	東洋史(2)-1 中国近代社会にとって「近代化」とは何か?	2	細井 和彦	田	秋2	東洋史(1)・東洋史(2) 文学部文化史学科生は登録することが望ましい。						
		051	東洋史(2)-51 東アジア史・東南アジア史概説(2)		遠藤 総史									
		052	東洋史(2)-52 中国近現代史理解のための基礎知識II		荻 恵里子									
先端・複合 領域科目	16002350	001	西洋史(1)-1 ヨーロッパ近代史	2	河合 竜太	田	春2	西洋史(1)・西洋史(2) 文学部文化史学科生は登録することが望ましい。						
		051	西洋史(1)-51 「食べ物」から見る世界史		宮下 敬志									
		052	西洋史(1)-52 オリент学から見た西洋古代史		藤井 信之									
		053	西洋史(1)-53 ナショナリズムと国民形成から見た近代ドイツ史		吉門 昌宏									
プロジェクト 科目	16002351	001	西洋史(2)-1 古代ローマ都市文明の様相ーポンペイ遺跡の事例を中心に	2	坂井 聡	田	秋2	西洋史(2)-52・53 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。						
		051	西洋史(2)-51 近現代イギリス史		大谷 誠									
		052	西洋史(2)-52 ヨーロッパの文化史		河合 竜太									
		053	西洋史(2)-53 西洋中世における知と社会		梶原 洋一									
外国語教育科目	16002348	001	東洋史(1)-1 伝統中国社会の多面的な構造を理解する	2	細井 和彦	田	春2	東洋史(1)・東洋史(2) 文学部文化史学科生は登録することが望ましい。						
		051	東洋史(1)-51 東アジア史・東南アジア史概説(1)		遠藤 総史									
		052	東洋史(1)-52 中国近現代史理解のための基礎知識I		荻 恵里子									
保健体育科目	16002349	001	東洋史(2)-1 中国近代社会にとって「近代化」とは何か?	2	細井 和彦	田	秋2	東洋史(1)・東洋史(2) 文学部文化史学科生は登録することが望ましい。						
		051	東洋史(2)-51 東アジア史・東南アジア史概説(2)		遠藤 総史									
		052	東洋史(2)-52 中国近現代史理解のための基礎知識II		荻 恵里子									

科目区分	配当年度	登録コード		科目名・クラス・サブタイトル	単位	担当者	校地	期間時間	備考						
		科目コード	クラスコード												
人文科学系科目	1~	16002352	001	考古学(1)-1	出土陶磁器にみる日本と世界	2	角谷江津子	田	春2	考古学(1)-52 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。					
			002	考古学(1)-2	考古学の方法と弥生~古墳時代の社会		若林 邦彦								
			051	考古学(1)-51	装身具からみた弥生・古墳時代の社会		廣瀬 時習								
			052	考古学(1)-52	瓦・寺院・藤原撰関家		浜中 邦弘								
			053	考古学(1)-53	埴輪の考古学		辻川 哲朗								
			054	考古学(1)-54	弥生時代の生活と文化		藤田 三郎								
			055	考古学(1)-55	考古学から見る人と文化		中村 潤子								
		16002353	001	考古学(2)-1	平安時代を主に	浜中 邦弘	2	浜中 邦弘			田	秋2			
			002	考古学(2)-2	平安時代を主に	清水 邦彦									
			051	考古学(2)-51	青銅器生産からみた弥生時代社会	若林 邦彦									
			052	考古学(2)-52	弥生~古墳時代の社会	佐古 和枝									
			053	考古学(2)-53	遺跡はなぜ大切か	若林 邦彦									
			054	考古学(2)-54	弥生~古墳時代の社会	中川 和哉									
			055	考古学(2)-55	考古学を楽しもう										
	16002354	001	日本語(1)-1	身近な言語事象から考える日本語	2	梶原 雄	田	春2							
		002	日本語(1)-2	身近な言語事象から考える日本語		梶原 雄									
		051	日本語(1)-51	身近な言語事象から考える日本語		梶原 雄									
	16002355	001	日本語(2)-1	人と社会をつなぐ日本語	2	梶原 雄	田	秋2							
		002	日本語(2)-2	人と社会をつなぐ日本語		梶原 雄									
		051	日本語(2)-51	人と社会をつなぐ日本語		梶原 雄									
	16002356	001	日本文学(1)-1	明治の短篇小説を読む(1)	2	坂崎 恭平	田	春2							
		051	日本文学(1)-51	『竹取物語』を読む		城阪 蒼紀									
	16002357	001	日本文学(2)-1	明治の短篇小説を読む(2)	2	坂崎 恭平	田	秋2							
		051	日本文学(2)-51	『平家物語』を読む		城阪 蒼紀									
	16000304			ドイツ文学 概要と作品分析	2	大木 清香	今	春2							
	16000305			フランス文学 バルザック作品におけるオペラの表象	2	山崎 恭宏	今	秋2							
	16000306			中国文学 中国古典詩文の世界	2	副島 一郎	田	春2							
16000307			スペイン文学 中世から現代におけるまで	2	DIAZ SANCHO IVAN	今	秋2								
16000308			ラテンアメリカ文学 現代ラテンアメリカ文学	2	立林 良一	今	春2								
16000309			ロシア文学 現代文化の中のロシア文学	2	中野 幸男	田	秋2								
社会科学系科目	1~	16003402	001	法学1-1	法学への招待	2	古川 彩二	田	春2	法学1・法学2 政策学部生は登録できない。 法学部の卒業必要単位数には含まれない。					
			002	法学1-2	刑事法と民法を中心に		竹村 和也								
			051	法学1-51	法学への招待		古川 彩二								
			052	法学1-52	基礎から始めてちょっと深掘り		平井 亮輔								
			053	法学1-53	社会に生きる法		岡村暢一郎								
			054	法学1-54	社会に生きる法		岡村暢一郎								
			011	法学2-11	人権について考える		古川 彩二								
		16003403	012	法学2-12	日本国憲法を中心にして	竹村 和也	2	竹村 和也			田	秋2			
			061	法学2-61	わが国の法の概略	古川 彩二									
			062	法学2-62	人権について考える	岡村暢一郎									
			063	法学2-63	法解釈と法的交渉	松岡 千紘									
			064	法学2-64	マイノリティと法										
			001	政治学1-1	比較政治学の視点から	西 直美		2					西 直美	田	春2
			002	政治学1-2	比較政治学の視点から	今村 祥子									
	051	政治学1-51	東南アジアの政治	今村 祥子											
	052	政治学1-52	東南アジアの政治	廣瀬 有哉											
	053	政治学1-53	統治・正義・参加	廣瀬 有哉											
	054	政治学1-54	統治・正義・参加	岡林 伸夫											
	055	政治学1-55	近代における世界像と自己認識	早瀬 善彦											
	16003401	011	政治学2-11	外国人政策	2	廣瀬 有哉	田	秋2							
		012	政治学2-12	アジア経済外交		大崎 祐馬									
		061	政治学2-61	政治の仕組みを考える		西 直美									
		062	政治学2-62	政治の仕組みを考える		西 直美									
		063	政治学2-63	政治学の基礎		今村 祥子									
		064	政治学2-64	政治学の基礎		今村 祥子									
		065	政治学2-65	近代日本における国民意識の形成		岡林 伸夫									

15-13年度生

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然科学系科目
自然・人間

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

科目区分	配当年次	登録コード		科目名・クラス・サブタイトル	単位	担当者	校地	期間時間	備考													
		科目コード	クラスコード																			
社会科学系科目	1~	16004400	001	経済学Ⅰ-1	ミクロ経済学の基礎	2	小田 勇一	田	経済学Ⅰ・経済学Ⅱ 社会学部産業関係学科生・ 政策学部生は登録できない。 商学部生は登録することが 望ましい。 経済学部卒業必要単位数 には含まれない。													
			051	経済学Ⅰ-51	ミクロ経済学入門			今														
			052	経済学Ⅰ-52	ミクロ経済学入門			今														
		16004401	001	経済学Ⅱ-1	マクロ経済学の基礎	2	小田 勇一	田		商学 商学部生は登録できない。												
			051	経済学Ⅱ-51	マクロ経済学入門			今														
			052	経済学Ⅱ-52	マクロ経済学入門			今														
		16005400	001	商学-1	現代企業と事業システム	2	加藤 康	田			春2											
			002	商学-2	経営管理の理論と実践			今			秋2											
			051	商学-51	国際商取引の実務			今			春2											
自然科学系科目	1~	16008400	001	データサイエンス概論-1	デジタル社会の“論語と算盤”	2	森本 栄一 瀬領 真悟 野々村和喜 宿久 洋 土屋 誠司	田	データサイエンス概論 2015年度生の科目である。													
								今			春2											
								今			秋2											
			002	データサイエンス概論-2	デジタル社会の“論語と算盤”			森本 栄一 瀬領 真悟 野々村和喜 宿久 洋 土屋 誠司		田	春2											
										今	秋2											
										今	秋2											
		16008503	001	データサイエンス基礎-1	現代社会の共通言語	2	森本 栄一 宿久 洋	田		春2												
								今		秋2												
								今		春2												
								今		秋2												
		16008504	002	データサイエンス基礎-2	現代社会の共通言語	2	森本 栄一 宿久 洋	田		春2												
								今		秋2												
								今		春2												
								今		秋2												
		16008505	001	データサイエンス基礎-51	現代社会の共通言語	2	森本 栄一 宿久 洋	田		春2												
								今		秋2												
								今		春2												
								今		秋2												
		16008500	001	データサイエンス基礎-52	現代社会の共通言語	2	森本 栄一 宿久 洋	田		春2												
								今		秋2												
								今		春2												
								今		秋2												
								16008500		002	データサイエンス基礎-1	現代社会の共通言語	2	波多野賢治	田	春2						
															今	秋2						
															今	春2						
															今	秋2						
															16008500	003	データサイエンス基礎-2	現代社会の共通言語	2	波多野賢治	田	春2
																					今	秋2
																					今	春2
																					今	秋2
								16008500		004	データサイエンス基礎-51	現代社会の共通言語	2	波多野賢治							田	春2
																					今	秋2
16008501	005	データサイエンス基礎-52	現代社会の共通言語	2	波多野賢治	田	春2															
						今	秋2															
						今	春2															
						今	秋2															
						16008500	001	データサイエンスⅠ-1	教養としての統計入門	2	土田 潤	田	春2									
												今	秋2									
												今	春2									
												今	秋2									
												16008500	002	データサイエンスⅠ-2	統計学の入口	2	竹野 倫彰	田	春2			
																		今	秋2			
																		今	春2			
																		今	秋2			
						16008500	003	データサイエンスⅠ-3	統計学の初歩	2	竹野 倫彰							田	春2			
																		今	秋2			
16008500	004	データサイエンスⅠ-4	データサイエンスの基礎と応用	2	江崎 剛史	田	春2															
						今	秋2															
						今	春2															
						今	秋2															
						16008500	005	データサイエンスⅠ-5	統計学入門	2	藤井 孝之	田	春2									
												今	秋2									
												今	春2									
												今	秋2									
16008500	051	データサイエンスⅠ-51	教養としての統計学入門	2	阿部 貴行							田	春2									
												今	秋2									
16008501	052	データサイエンスⅠ-52	データサイエンス入門	2	山田 隆行	田	春2															
						今	秋2															
						今	春2															
						今	秋2															
						16008501	053	データサイエンスⅠ-53	データサイエンス入門	2	原 尚幸	田	春2									
												今	秋2									
												今	春2									
												今	秋2									
16008501	054	データサイエンスⅠ-54	社会と統計リテラシー	2	大森 崇							田	春2									
												今	秋2									
16008501	001	データサイエンスⅡ-1	統計的推測の入門	2	大森 崇	田	春2															
						今	秋2															
						今	春2															
						今	秋2															
						16008501	002	データサイエンスⅡ-2	社会を解き明かす数理モデル入門	2	眞田 英毅	田	春2									
												今	秋2									
												今	春2									
												今	秋2									
												16008501	003	データサイエンスⅡ-3	Rを用いたデータ分析	2	藤井 孝之	田	春2			
																		今	秋2			
						16008501	004	データサイエンスⅡ-4	メディアデータをチェックする統計解析	2	濱田 悦生	田	春2									
												今	秋2									
												今	春2									
												今	秋2									
16008501	005	データサイエンスⅡ-5	統計的推測の基礎	2	大森 崇							田	春2									
												今	秋2									
												今	春2									
												今	秋2									
						16008501	051	データサイエンスⅡ-51	社会調査のすすめ	2	堀 兼大朗	田	春2									
												今	秋2									
16008501	052	データサイエンスⅡ-52	データ分析入門	2	阿部 貴行	田	春2															
						今	秋2															
16008501	053	データサイエンスⅡ-53	Rを用いた統計解析	2	山田 隆行	田	春2															
						今	秋2															
16008501	054	データサイエンスⅡ-54	統計と人工知能入門	2	原 尚幸	田	春2															
						今	秋2															

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然・人間
科学系科目

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

科目区分	配当年次	登録コード		科目名・クラス・サブタイトル	単位	担当者	校地	期間時間	備考																																					
		科目コード	クラスコード																																											
自然科学系科目	1~	16016700	001	数学-1	数学入門	2	木村 和広 塩田隆比呂 竹山 理 磯 祐介 竹山 理 大川 領	田	春2	数学 理工学部数理システム学科 の卒業必要単位数には含ま れない。 数学-52・55・56・59 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。																																				
			002	数学-2	線形代数入門						朝田 衛 藤田 成隆 朝田 衛 藤田 成隆 藤田 成隆 大塚 研一	今	春2																																	
			003	数学-3	ランダムウォークによる確率論入門									藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆	今	春2																														
			004	数学-4	四大文明の「算術」から現代数学へ												藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆	今	春2																											
			005	数学-5	ベイズ統計入門															藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆	今	春2																								
			006	数学-6	数学と理工学																		藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆	今	春2																					
			051	数学-51	線形代数		藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆	今	春2																																					
			052	数学-52	確率の基礎と応用						藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆	今	春2																																	
			054	数学-54	整数の初歩及び平行線の公理									藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆	今	春2																														
			055	数学-55	確率の基礎と応用												藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆	今	春2																											
			056	数学-56	数学とコンピュータ															藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆	今	春2																								
			058	数学-58	微分積分の初歩																		藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆	今	春2																					
			059	数学-59	数学とコンピュータ		藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆 藤田 成隆	今	春2																																					
		16016701	001	物理学-1	物理的手法の物質科学への適用	2					喜綿 洋人 喜綿 洋人 喜綿 洋人 喜綿 洋人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人	田	春2																																	
			002	物理学-2	物理的手法の物質科学への適用									藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人	田	秋2																														
			003	物理学-3	概説及び入門												藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人	田	秋2																											
			004	物理学-4	概説及び入門															藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人	田	秋2																								
			051	物理学-51	物質とその運動																		藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人	田	秋2																					
			052	物理学-52	物質とその運動		藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人	田	秋2																																					
			053	物理学-53	パターン形成論：身の回りの自然・社会現象を考える																					藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人	田	秋2																		
			054	物理学-54	パターン形成論：身の回りの自然・社会現象を考える																								藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人	田	秋2															
			055	物理学-55	物質の見せる様々な様相																											藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人	田	秋2												
			056	物理学-56	物質の見せる様々な様相																														藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人	田	秋2									
		057	物理学-57	カオス現象：科学における偶然と必然	藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人	田					秋2																																			
		058	物理学-58	カオス現象：科学における偶然と必然								藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人 藤 定義 藤 定義 戸田 幹人 戸田 幹人	田	秋2																																
		16016702	001	化学-1											物質の科学	2	池田 憲昭 池田 憲昭 池田 憲昭 池田 憲昭 吉村 一良 吉村 一良	田	春2																											
			002	化学-2											物質の科学					池田 憲昭 池田 憲昭 池田 憲昭 池田 憲昭 吉村 一良 吉村 一良	田	秋2																								
			003	化学-3											光と物質								池田 憲昭 池田 憲昭 池田 憲昭 池田 憲昭 吉村 一良 吉村 一良	田	秋2																					
			004	化学-4			光と物質	池田 憲昭 池田 憲昭 池田 憲昭 池田 憲昭 吉村 一良 吉村 一良	田						秋2																															
			051	化学-51			原子の話																			池田 憲昭 池田 憲昭 池田 憲昭 池田 憲昭 吉村 一良 吉村 一良	田	秋2																		
			052	化学-52			原子やイオンの中での電子の振る舞い																						池田 憲昭 池田 憲昭 池田 憲昭 池田 憲昭 吉村 一良 吉村 一良	田	秋2															
		16016703	001	地球と宇宙の科学-1			地震・火山・地すべりの仕組みと防災・減災									2	土井 一生 柴田 一成 玉井 雅人 土井 一生 玉井 雅人 三上 禎次 玉井 雅人 柴田 一成 玉井 雅人 三上 禎次 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏	田	春2																											
			002	地球と宇宙の科学-2			太陽系天文学概論													土井 一生 柴田 一成 玉井 雅人 土井 一生 玉井 雅人 三上 禎次 玉井 雅人 柴田 一成 玉井 雅人 三上 禎次 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏	田	春2																								
			003	地球と宇宙の科学-3	固体地球科学入門	土井 一生 柴田 一成 玉井 雅人 土井 一生 玉井 雅人 三上 禎次 玉井 雅人 柴田 一成 玉井 雅人 三上 禎次 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏	田				春2																																			
			004	地球と宇宙の科学-4	地震・火山・地すべりの仕組みと防災・減災			土井 一生 柴田 一成 玉井 雅人 土井 一生 玉井 雅人 三上 禎次 玉井 雅人 柴田 一成 玉井 雅人 三上 禎次 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏	田			春2																																		
			005	地球と宇宙の科学-5	固体地球科学入門								土井 一生 柴田 一成 玉井 雅人 土井 一生 玉井 雅人 三上 禎次 玉井 雅人 柴田 一成 玉井 雅人 三上 禎次 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏	田	春2																															
			006	地球と宇宙の科学-6	地球表層のシステム科学																		土井 一生 柴田 一成 玉井 雅人 土井 一生 玉井 雅人 三上 禎次 玉井 雅人 柴田 一成 玉井 雅人 三上 禎次 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏	田	春2																					
			007	地球と宇宙の科学-7	固体地球科学入門																					土井 一生 柴田 一成 玉井 雅人 土井 一生 玉井 雅人 三上 禎次 玉井 雅人 柴田 一成 玉井 雅人 三上 禎次 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏	田	春2																		
			008	地球と宇宙の科学-8	恒星銀河天文学概論																								土井 一生 柴田 一成 玉井 雅人 土井 一生 玉井 雅人 三上 禎次 玉井 雅人 柴田 一成 玉井 雅人 三上 禎次 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏	田	春2															
			009	地球と宇宙の科学-9	固体地球科学入門																											土井 一生 柴田 一成 玉井 雅人 土井 一生 玉井 雅人 三上 禎次 玉井 雅人 柴田 一成 玉井 雅人 三上 禎次 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏	田	春2												
			010	地球と宇宙の科学-10	地球表層のシステム科学																														土井 一生 柴田 一成 玉井 雅人 土井 一生 玉井 雅人 三上 禎次 玉井 雅人 柴田 一成 玉井 雅人 三上 禎次 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏	田	春2									
			051	地球と宇宙の科学-51	太陽系天文学																																	土井 一生 柴田 一成 玉井 雅人 土井 一生 玉井 雅人 三上 禎次 玉井 雅人 柴田 一成 玉井 雅人 三上 禎次 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏	田	春2						
			052	地球と宇宙の科学-52	太陽系天文学																																				土井 一生 柴田 一成 玉井 雅人 土井 一生 玉井 雅人 三上 禎次 玉井 雅人 柴田 一成 玉井 雅人 三上 禎次 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏	田	春2			
			054	地球と宇宙の科学-54	ジュラシックパークの終焉																																							土井 一生 柴田 一成 玉井 雅人 土井 一生 玉井 雅人 三上 禎次 玉井 雅人 柴田 一成 玉井 雅人 三上 禎次 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏	田	春2
			055	地球と宇宙の科学-55	ジュラシックパークの終焉																																									
		057	地球と宇宙の科学-57	宇宙と宇宙生命を考える	土井 一生 柴田 一成 玉井 雅人 土井 一生 玉井 雅人 三上 禎次 玉井 雅人 柴田 一成 玉井 雅人 三上 禎次 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏											田	春2																													
		058	地球と宇宙の科学-58	宇宙と宇宙生命を考える														土井 一生 柴田 一成 玉井 雅人 土井 一生 玉井 雅人 三上 禎次 玉井 雅人 柴田 一成 玉井 雅人 三上 禎次 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏	田	春2																										
		060	地球と宇宙の科学-60	ジュラシックパークの終焉		土井 一生 柴田 一成 玉井 雅人 土井 一生 玉井 雅人 三上 禎次 玉井 雅人 柴田 一成 玉井 雅人 三上 禎次 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏	田				春2																																			
		061	地球と宇宙の科学-61	ジュラシックパークの終焉				土井 一生 柴田 一成 玉井 雅人 土井 一生 玉井 雅人 三上 禎次 玉井 雅人 柴田 一成 玉井 雅人 三上 禎次 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏 西村 昌能 西村 昌能 渋谷 秀敏 渋谷 秀敏	田			春2																																		

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然科学系科目

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

科目区分	配当 年次	登録コード		科目名・クラス・サブタイトル	単位	担当者	校地	期間 時間	備考	
		科目コード	クラスコード							
自然・人間科学系科目	1~	16016704	001	生命の科学-1	生物多様性の進化と保全	2	加藤 真	田	春2	生命の科学-5 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 生命の科学-52・53・61 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。
			002	生命の科学-2	ランの生物学		鈴木 玲子			
			003	生命の科学-3	ランの生物学		鈴木 玲子			
			004	生命の科学-4	生物多様性の進化と保全		加藤 真			
			005	生命の科学-5	化学からの考察		松本 浩一			
			006	生命の科学-6	数理生物学		伊藤 公一	秋2		
			007	生命の科学-7	植物科学基礎		鈴木 玲子			
			010	生命の科学-10	菌類生態学		松岡 俊将			
			011	生命の科学-11	植物科学基礎		鈴木 玲子			
			051	生命の科学-51	無脊椎動物の自然史		西川 完途	今	春2	
			052	生命の科学-52	ヒトと生命科学		河本 恭子			
			053	生命の科学-53	ヒトと生命科学		河本 恭子			
			054	生命の科学-54	無脊椎動物の自然史		西川 完途			
			055	生命の科学-55	生物の多様性と進化		加藤 真	秋2		
			056	生命の科学-56	生物の多様性と進化		加藤 真			
			058	生命の科学-58	ビタミンの健康科学		市川 寛			
			059	生命の科学-59	生物多様性の進化と保全		藤原摩耶子			
			060	生命の科学-60	生物多様性の進化と保全		藤原摩耶子	今		
			061	生命の科学-61	脊椎動物の自然史		西川 完途			
			062	生命の科学-62	細胞と分子の生物学		幡野 恭子			
		063	生命の科学-63	細胞と分子の生物学	幡野 恭子					
		064	生命の科学-64	脊椎動物の自然史	西川 完途					
		065	生命の科学-65	脊椎動物の自然史	西川 完途					
		066	生命の科学-66	生物多様性の進化と保全	藤原摩耶子					
		067	生命の科学-67	生物の共生と生態系	加藤 真					
		068	生命の科学-68	生物の共生と生態系	加藤 真					
		069	生命の科学-69	生物多様性の進化と保全	藤原摩耶子					
		070	生命の科学-70	細胞と分子の科学	石川 文洋	2	春2			
		001	科学史・科学論-1	科学史入門	但馬 亨					
		002	科学史・科学論-2	層のしくみと歴史	池山 説郎					
		003	科学史・科学論-3	層のしくみと歴史	池山 説郎					
		004	科学史・科学論-4	科学史入門	但馬 亨					
		006	科学史・科学論-6	現代科学史	但馬 亨					
		051	科学史・科学論-51	古代ギリシャから現代までの自然観の歴史	藤岡 毅					
		052	科学史・科学論-52	古代ギリシャから現代までの自然観の歴史	藤岡 毅					
		053	科学史・科学論-53	古代ギリシャから現代までの自然観の歴史	藤岡 毅					
		054	科学史・科学論-54	層のしくみと歴史	池山 説郎					
		055	科学史・科学論-55	古代ギリシャから現代までの自然観の歴史	藤岡 毅					
		056	科学史・科学論-56	実践的数学史入門	池山 説郎					
		057	科学史・科学論-57	実践的数学史入門	池山 説郎					
		058	科学史・科学論-58	実践的数学史入門	池山 説郎					
		16016512	001	環境の科学-1	環境リスクの評価と管理	2	森 達摩	田	春2	環境の科学 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。
			002	環境の科学-2	環境リスクの評価と管理		森 達摩		秋2	
			051	環境の科学-51	環境問題理解のためのリテラシー		原田 英典	今	春2	
			052	環境の科学-52	環境問題理解のためのリテラシー		原田 英典		秋2	
		16016750	001	自然科学特論-1	【数学】微分方程式入門	2	島田 伸一	田	春2	自然科学特論【数学】 理工学部数理システム学科の卒業必要単位数には含まれない。
			002	自然科学特論-2	【数学】数学における特別な数		竹山 理			
			003	自然科学特論-3	【数学】個数計算の方法		竹山 理			
			004	自然科学特論-4	【数学】数学と理工学		木村 和広			
			005	自然科学特論-5	【数学】微分方程式入門		根岸 章		秋2	
		16016755	001	自然科学特論-1	【科学史・科学論】現代科学史	2	但馬 亨	田	秋2	自然科学特論【科学史・科学論】 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。
			002	自然科学特論-2	【科学史・科学論】現代科学史		但馬 亨			
			051	自然科学特論-51	【科学史・科学論】科学技術の進歩が引き起こした社会的諸問題		藤岡 毅			
			052	自然科学特論-52	【科学史・科学論】科学技術の進歩が引き起こした社会的諸問題		藤岡 毅			
			053	自然科学特論-53	【科学史・科学論】科学技術の進歩が引き起こした社会的諸問題		藤岡 毅			

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然・人間
科学系科目

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

科目区分	配当年次	登録コード		科目名・クラス・サブタイトル	単位	担当者	校地	期間時間	備考
		科目コード	クラスコード						
自然・人間科学系科目	1~	16017500	001	心理学1-1	2	小野由莉花	田	春2	心理学1-51・52・53・54・55・56 先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。
			002	心理学1-2	2	水野 邦夫			
			003	心理学1-3	2	森岡 陽介			
			004	心理学1-4	2	余語 真夫			
			051	心理学1-51	2	稲垣 勉			
			052	心理学1-52	2	余語 真夫			
			053	心理学1-53	2	谷口 康祐			
			054	心理学1-54	2	池本真知子			
			055	心理学1-55	2	池本真知子			
			056	心理学1-56	2	敦賀麻理子			
	16017501	001	心理学2-1	2	木村 晴	田	秋2		
		002	心理学2-2	2	水野 邦夫				
		003	心理学2-3	2	森岡 陽介				
		004	心理学2-4	2	余語 真夫				
		051	心理学2-51	2	稲垣 勉				
		052	心理学2-52	2	余語 真夫				
	今	053	心理学2-53	2	谷口 康祐	今			
		054	心理学2-54	2	池本真知子				
055		心理学2-55	2	池本真知子					
056		心理学2-56	2	敦賀麻理子					
先端・複合領域科目	1~		先端領域科目1	2	休 講				
			先端領域科目2	2	休 講				
	2~	16604031	019	複合領域科目2-19 良心学-良心を科学する	2	内山伊知郎 小原 克博 田附 俊一 元山 純	田	秋2	複合領域科目2-90 授業日程はシラバスを参照すること。
		16604034	090	複合領域科目2-90 「メディア・プロフェッショナル」実践講座	2	多田 実 佐藤 守弘 竹内 幸絵 佐野 明子 樋口 摩彌			
	1~	16604038	021	複合領域科目2-21 赤ちゃん学	2	嶋田 容子 元山 純 加藤 正晴	田	秋2	
		16604040	103 094	複合領域科目2-103 ウェルビーイングとコーチング入門：意味ある人生とコミュニケーションのために 複合領域科目2-94 ウェルビーイングとコーチング入門：意味ある人生とコミュニケーションのために	2	飯塚 まり 中川 吉晴 森田 克司			
	16604045	099	複合領域科目2-99 ダイバーシティ社会における障がい学生支援を考える-アークセンシティ支援の理論と実践-	2	松川 真美 梶山 玉香 河西 正博 中瀬 浩一 日下部隆則 土橋恵美子	今	秋2	複合領域科目2-99 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。	
	16604047	106	複合領域科目2-106 自然と人間の共生を考える-ミツバチから学ぶSDGs	2	和田 喜彦 金津 和美 和泉 真澄	今	秋2		
	16604049	108	複合領域科目2-108 近現代朝鮮の歴史と文化	2	太田 修 板垣 竜太 コ ヨンジ 小川原宏幸				
						16600100	339		
	16600101	339	プロジェクト科目2-339 大学のあるまちづくり-サステナブルタウンを目指して-	2	[千田 二郎]	今	春2 秋2		
16600100	661	プロジェクト科目1-661 留学生と創る!伝統と革新-日本語文化読本(アントレプレナー)	2	遠藤 正彦	今				
16600101	661	プロジェクト科目2-661 留学生と創る!伝統と革新-日本語文化読本(アントレプレナー)	2	[徐 潤純]		今	春2 秋2		
16600100	671	プロジェクト科目1-671 こどもの手でつむぐ京都の錦織-未来へ伝える伝統の絆	2	龍村 周	今				春2 秋2
16600101	671	プロジェクト科目2-671 こどもの手でつむぐ京都の錦織-未来へ伝える伝統の絆	2	[大久保雅史]		今	春2 秋2		
16600100	706	プロジェクト科目1-706 クリエイティブな映像制作で道路交通の安心安全を守る!	2	堀出 大介	今				春2 秋2
16600101	706	プロジェクト科目2-706 クリエイティブな映像制作で道路交通の安心安全を守る!	2	[佐野 明子]		今	春2 秋2		

15-13年度生

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然科学系科目

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

科目区分	配当 年次	登録コード		科目名・クラス・サブタイトル	単位	担当者	校地	期間 時間	備考	
		科目コード	クラスコード							
同志社科目 キャリア形成 支援科目	プロジェクト科目 2~	16600100	707	プロジェクト科目1-707	2	泉川 大樹	今	春2	プロジェクト科目1 プロジェクト科目2 全クラス先行登録科目である。 既に履修済みのクラスと同一のクラスを登録することはできない。 授業の詳細についてはシラバスを、登録方法の詳細については『登録要領』を参照すること。	
		16600101	707	プロジェクト科目2-707	2	[波多野賢治]		秋2		
		16600100	711	プロジェクト科目1-711	2	武田 知也	今	春2		
		16600101	711	プロジェクト科目2-711	2	[志賀 理]		秋2		
		16600100	712	プロジェクト科目1-712	2	青柳 良明	今	春2		
		16600101	712	プロジェクト科目2-712	2	[廣野 俊輔]		秋2		
		16600100	715	プロジェクト科目1-715	2	森川 宏剛	今	春2		
		16600101	715	プロジェクト科目2-715	2	[柳澤 彰紀]		秋2		
国際教養科目 人文科学系科目 社会科学系科目 自然・人間 科学系科目 先端・複合 領域科目 プロジェクト 外国語教育科目 保健体育科目	1~	16501013	***	コミュニケーション・イングリッシュ1	1				サマープログラム・英語A サマープログラム・英語B サマープログラム・英語C 再修生で9月卒業予定者は登録できない。 詳細は『登録要領』を参照。 Semester Program・英語I Semester Program・英語II 詳細は『登録要領』を参照。 Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1 Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2 Study Abroad Preparation (IELTS) 1 Study Abroad Preparation (IELTS) 2 2015年度生の科目である。	
		16501014	***	コミュニケーション・イングリッシュ2	1					
		16501023	***	アナリティカル・リーディング1	1					
		16501024	***	アナリティカル・リーディング2	1					
		2~	16501031	***	イングリッシュ・セミナー1	1				
			16501032	***	イングリッシュ・セミナー2	1				
					イングリッシュ・セミナー3	2	休 講			
			16501041	***	イングリッシュ・ワークショップ1	1				
			16501042	***	イングリッシュ・ワークショップ2	1				
					イングリッシュ・ワークショップ3	2	休 講			
		1・2	16501061	***	アカデミック・イングリッシュA	2				
			16501062	***	アカデミック・イングリッシュB	2				
	16501065		***	プロフェッショナル・イングリッシュA	2					
	16501066		***	プロフェッショナル・イングリッシュB	2					
	3~			プレ・イングリッシュ・プラクティクム	4	休 講				
				イングリッシュ・プラクティクム1	4	休 講				
				イングリッシュ・プラクティクム2	4	休 講				
	1~	16501081	***	言語文化研究1	2					
		16501082	***	言語文化研究2	2					
		16501051	***	現代地域事情・上級講読(英語圏)1	2					
	2~	16501052	***	現代地域事情・上級講読(英語圏)2	2					
		16509001	***	サマープログラム・英語A	4			春集中		
		16509002	***	サマープログラム・英語B	3			春集中		
	1~	16509003	***	サマープログラム・英語C	2			春集中		
				スプリングプログラム・英語A	4					
				スプリングプログラム・英語B	3					
	2~			スプリングプログラム・英語C	2					
				スプリングプログラム・英語D	1	休 講				
		16509081	***	セメスタープログラム・英語I	4			秋集中		
	16509082	***	セメスタープログラム・英語II	4			秋集中			
1~			Intensive Courses for TOEFL(Practice)	1	休 講					
			Intensive Courses for TOEFL(Tutorial)	1	休 講					
	16501181	***	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	2						
	16501182	***	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	2						
	16501191	***	Study Abroad Preparation (IELTS) 1	2						
16501192	***	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	2							
1~	16502011	***	ドイツ語入門I	2						
	16502012	***	ドイツ語入門II	2						
2~	16502031	***	ドイツ語応用1	1						
	16502032	***	ドイツ語応用2	1						
	16502033	***	ドイツ語応用3	1						
	16502034	***	ドイツ語応用4	1						
1~	16502021	***	ドイツ語インテンシヴI	3						
	16502022	***	ドイツ語インテンシヴII	3						
2~	16502023	***	ドイツ語インテンシヴIII	3						
	16502024	***	ドイツ語インテンシヴIV	3						

科目区分	配当年次	登録コード		科目名・クラス・サブタイトル	単位	担当者	校地	期間時間	備考	
		科目コード	クラスコード							
外国語教育科目	3~	16502025	***	ドイツ語インテンシヴV	2				サマープログラム・ドイツ語B再修生で9月卒業予定者は登録できない。詳細は『登録要領』を参照。 Semesterプログラム・ドイツ語I Semesterプログラム・ドイツ語II 授業は同志社大学チューリッゲンEUキャンパスで実施する。詳細は『登録要領』を参照。	
		16502026	***	ドイツ語インテンシヴVI	2					
		16502051	***	ドイツ語文化事情 I	2					
		16502052	***	ドイツ語文化事情 2	2					
		16502061	***	ドイツ語表現法 I	2					
		16502062	***	ドイツ語表現法 2	2					
		16502071	***	言語文化原典演習 (ドイツ語) I	2					
		16502072	***	言語文化原典演習 (ドイツ語) 2	2					
		16502081	***	現代地域事情・上級講読 (ドイツ語圏) I	2					
		16502082	***	現代地域事情・上級講読 (ドイツ語圏) 2	2					
	2~				サマープログラム・ドイツ語 A	4	休講			
	2~	16502093			サマープログラム・ドイツ語 B	3		春集中		
	2~				スプリングプログラム・ドイツ語	3				
	2~	16502101			Semesterプログラム・ドイツ語 I	4		春集中		
	2~	16502102			Semesterプログラム・ドイツ語 II	4		春集中		
	1~	16502041	***		ドイツ語会話初級 I	1				
		16502042	***		ドイツ語会話初級 2	1				
		16502043	***		ドイツ語会話中級 I	1				
		16502044	***		ドイツ語会話中級 2	1				
		16502045	***		ドイツ語会話上級 I	1				
		16502046	***		ドイツ語会話上級 2	1				
	1~	16503011	***		フランス語入門 I	2				
		16503012	***		フランス語入門 II	2				
	2~	16503031	***		フランス語応用 I	1				
		16503032	***		フランス語応用 2	1				
		16503033	***		フランス語応用 3	1				
		16503034	***		フランス語応用 4	1				
	1~	16503021	***		フランス語インテンシヴ I	3				
		16503022	***		フランス語インテンシヴ II	3				
	2~	16503023	***		フランス語インテンシヴ III	3				
		16503024	***		フランス語インテンシヴ IV	3				
	3~	16503025	***		フランス語インテンシヴ V	2				
		16503026	***		フランス語インテンシヴ VI	2				
	4	16503027	***		フランス語インテンシヴ VII	2				
		16503028	***		フランス語インテンシヴ VIII	2				
	3~	16503051	***		フランス語文化事情 I	2				
		16503052	***		フランス語文化事情 2	2				
		16503061	***		フランス語表現法 I	2				
		16503062	***		フランス語表現法 2	2				
		16503071	***		言語文化原典演習 (フランス語) I	2				
		16503072	***		言語文化原典演習 (フランス語) 2	2				
		16503081	***		現代地域事情・上級講読 (フランス語圏) I	2				
16503082		***		現代地域事情・上級講読 (フランス語圏) 2	2					
2~	16503091			サマープログラム・フランス語	4		春集中			
2~				スプリングプログラム・フランス語	3					
1~	16503041	***		フランス語会話初級 I	1					
	16503042	***		フランス語会話初級 2	1					
	16503043	***		フランス語会話中級 I	1					
	16503044	***		フランス語会話中級 2	1					
	16503045	***		フランス語会話上級 I	1					
	16503046	***		フランス語会話上級 2	1					
1~	16504011	***		中国語入門 I	2					
	16504012	***		中国語入門 II	2					
2~	16504031	***		中国語応用 I	1					
	16504032	***		中国語応用 2	1					
	16504033	***		中国語応用 3	1					
	16504034	***		中国語応用 4	1					

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然科学系科目
自然・人間

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

科目区分	配当年次	登録コード		科目名・クラス・サブタイトル	単位	担当者	校地	期間時間	備考
		科目コード	クラスコード						
同志社科目	1~	16504021	***	中国語インテンシヴⅠ	3				
		16504022	***	中国語インテンシヴⅡ	3				
キャリア形成 支援科目	2~	16504023	***	中国語インテンシヴⅢ	3				
		16504024	***	中国語インテンシヴⅣ	3				
国際教養科目	3~	16504025	***	中国語インテンシヴⅤ	2				
		16504026	***	中国語インテンシヴⅥ	2				
人文科学系科目	4	16504027	***	中国語インテンシヴⅦ	2				
		16504028	***	中国語インテンシヴⅧ	2				
社会科学系科目	3~	16504051	***	中国語文化事情Ⅰ	2				
		16504052	***	中国語文化事情Ⅱ	2				
		16504061	***	中国語表現法Ⅰ	2				
		16504062	***	中国語表現法Ⅱ	2				
		16504071	***	言語文化原典演習(中国語)Ⅰ	2				
		16504072	***	言語文化原典演習(中国語)Ⅱ	2				
		16504081	***	現代地域事情・上級講読(中国語圏)Ⅰ	2				
16504082	***	現代地域事情・上級講読(中国語圏)Ⅱ	2						
自然科学系科目	2~			サマープログラム・中国語	4	休講			
	2~			スプリングプログラム・中国語	1				
社会科学系科目	2~	16504041	***	中国語会話初級Ⅰ	1				
		16504042	***	中国語会話初級Ⅱ	1				
		16504043	***	中国語会話中級Ⅰ	1				
		16504044	***	中国語会話中級Ⅱ	1				
		16504045	***	中国語会話上級Ⅰ	1				
		16504046	***	中国語会話上級Ⅱ	1				
		16505011	***	スペイン語入門Ⅰ	2				
16505012	***	スペイン語入門Ⅱ	2						
自然・人間 科学系科目	2~	16505031	***	スペイン語応用Ⅰ	1				
		16505032	***	スペイン語応用Ⅱ	1				
		16505033	***	スペイン語応用Ⅲ	1				
		16505034	***	スペイン語応用Ⅳ	1				
先端・複合 領域科目	1~	16505021	***	スペイン語インテンシヴⅠ	3				
		16505022	***	スペイン語インテンシヴⅡ	3				
プロジェクト 科目	2~	16505023	***	スペイン語インテンシヴⅢ	3				
		16505024	***	スペイン語インテンシヴⅣ	3				
外国語 教育 科目	3~	16505025	***	スペイン語インテンシヴⅤ	2				
		16505026	***	スペイン語インテンシヴⅥ	2				
		16505051	***	スペイン語文化事情Ⅰ	2				
		16505052	***	スペイン語文化事情Ⅱ	2				
		16505061	***	スペイン語表現法Ⅰ	2				
		16505062	***	スペイン語表現法Ⅱ	2				
		16505071	***	言語文化原典演習(スペイン語)Ⅰ	2				
		16505072	***	言語文化原典演習(スペイン語)Ⅱ	2				
		16505081	***	現代地域事情・上級講読(スペイン語圏)Ⅰ	2				
		16505082	***	現代地域事情・上級講読(スペイン語圏)Ⅱ	2				
外国語教育科目	2~	16505091		サマープログラム・スペイン語	4			春集中	サマープログラム・スペイン語 再修生で9月卒業予定者は 登録できない。 詳細は『登録要領』を参照。 スプリングプログラム・スペイン語C 2015年度生の科目である。
	2~			スプリングプログラム・スペイン語	1	休講			
保健体育科目	2~			スプリングプログラム・スペイン語C	2	休講			
		1~	16505041	***	スペイン語会話初級Ⅰ	1			
16505042	***		スペイン語会話初級Ⅱ	1					
16505043	***		スペイン語会話中級Ⅰ	1					
16505044	***		スペイン語会話中級Ⅱ	1					
16505045	***		スペイン語会話上級Ⅰ	1					
16505046	***		スペイン語会話上級Ⅱ	1					
1~	16506011	***	ロシア語入門Ⅰ	2					
	16506012	***	ロシア語入門Ⅱ	2					

科目区分	配当 年次	登録コード		科目名・クラス・サブタイトル	単位	担当者	校地	期間 時間	備考
		科目コード	クラスコード						
外国語教育科目	2~	16506031	※※※	ロシア語応用 1	1				
		16506032	※※※	ロシア語応用 2	1				
		16506033	※※※	ロシア語応用 3	1				
		16506034	※※※	ロシア語応用 4	1				
	1~	16506021	※※※	ロシア語インテンシヴ I	3				
		16506022	※※※	ロシア語インテンシヴ II	3				
	2~	16506023	※※※	ロシア語インテンシヴ III	3				
		16506024	※※※	ロシア語インテンシヴ IV	3				
	3~	16506051	※※※	ロシア語文化事情 1	2				
		16506052	※※※	ロシア語文化事情 2	2				
		16506061	※※※	ロシア語表現法 1	2				
		16506062	※※※	ロシア語表現法 2	2				
		16506071	※※※	言語文化原典演習 (ロシア語) 1	2				
		16506072	※※※	言語文化原典演習 (ロシア語) 2	2				
		16506081	※※※	現代地域事情・上級講読 (ロシア語圏) 1	2				
	2~			現代地域事情・上級講読 (ロシア語圏) 2	2				
	1~			サマープログラム・ロシア語	4	休講			
		16506041	※※※	ロシア語会話初級 1	1				
		16506042	※※※	ロシア語会話初級 2	1				
		16506043	※※※	ロシア語会話中級 1	1				
		16506044	※※※	ロシア語会話中級 2	1				
		16506045	※※※	ロシア語会話上級 1	1				
	16506046	※※※	ロシア語会話上級 2	1					
	1~	16507011	※※※	ロシア語入門 I	2				
		16507012	※※※	ロシア語入門 II	2				
	2~	16507031	※※※	ロシア語応用 1	1				
		16507032	※※※	ロシア語応用 2	1				
		16507033	※※※	ロシア語応用 3	1				
		16507034	※※※	ロシア語応用 4	1				
	1~	16507021	※※※	ロシア語インテンシヴ I	3				
		16507022	※※※	ロシア語インテンシヴ II	3				
	2~	16507023	※※※	ロシア語インテンシヴ III	3				
		16507024	※※※	ロシア語インテンシヴ IV	3				
	3~	16507025	※※※	ロシア語インテンシヴ V	2				
		16507026	※※※	ロシア語インテンシヴ VI	2				
		16507051	※※※	ロシア語文化事情 1	2				
		16507052	※※※	ロシア語文化事情 2	2				
		16507061	※※※	ロシア語表現法 1	2				
		16507062	※※※	ロシア語表現法 2	2				
		16507071	※※※	言語文化原典演習 (ロシア語) 1	2				
		16507072	※※※	言語文化原典演習 (ロシア語) 2	2				
		16507081	※※※	現代地域事情・上級講読 (ロシア語圏) 1	2				
		16507082	※※※	現代地域事情・上級講読 (ロシア語圏) 2	2				
	2~	16507091		サマープログラム・ロシア語	3			春集中	サマープログラム・ロシア語再修生で9月卒業予定者は登録できない。詳細は『登録要領』を参照。
	2~			スプリングプログラム・ロシア語	3				
	1~	16507041	※※※	ロシア語会話初級 1	1				
16507042		※※※	ロシア語会話初級 2	1					
16507043		※※※	ロシア語会話中級 1	1					
16507044		※※※	ロシア語会話中級 2	1					
16507045		※※※	ロシア語会話上級 1	1					
16507046		※※※	ロシア語会話上級 2	1					
2~	16508001	※※※	基礎イタリア語 I	1					
	16508002	※※※	基礎イタリア語 II	1					
3~	16508003	※※※	基礎イタリア語 III	1					
	16508004	※※※	基礎イタリア語 IV	1					

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然科学系科目
自然・人間

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

科目区分	配当年次	登録コード		科目名・クラス・サブタイトル	単位	担当者	校地	期間時間	備考
		科目コード	クラスコード						
保健体育科目	1~			健康の科学	2	休講			※注1 スポーツ・パフォーマンスI 先行登録科目である。クラス、種目、曜日講時、担当者等は『登録要領』を参照。
				スポーツの科学	2	休講			
				スポーツと健康	2	休講			
				トレーニングの科学	2	休講			
				スポーツの文化	2	休講			
				スポーツのマネジメント	2	休講			
				スポーツの心理	2	休講			
		16601018	※※※	スポーツ・パフォーマンスI	1	※注1			

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然・人間
科学系科目

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

全学共通教養教育カリキュラム・ポリシー

- 同志社大学の建学の精神である「良心教育」をさらに発展させることを目的として、「キリスト教主義」、「自由主義（自治自立の精神）」、「国際主義」という3つの教育理念に基づき、知・徳・体すべてにわたる豊かな人間性と21世紀型市民にふさわしい幅広い教養を有する人物を育成するために、「同志社科目」、「キャリア形成支援科目」、「プロジェクト科目」、「国際教養科目」、「外国語教育科目」、「人文科学系科目」、「社会科学系科目」、「自然・人間科学系科目」、「先端・複合領域科目」、「保健体育科目」という10の科目区分を全学共通教養教育科目として設置する。上記10科目区分のうち、「同志社科目」は「同志社科目群」、「キャリア形成支援科目」と「プロジェクト科目」は「キャリア形成支援科目群」、「国際教養科目」と「外国語教育科目」は「国際教養科目群」を構成し、学生が体系性と順次性を自覚しながら、それぞれの教育内容を効果的に履修できるように配慮されている。卒業要件における履修単位数あるいは必修科目等については、各学部のカリキュラム・ポリシーに従って別途定められる。

- 文理を問わず、デジタル社会の基礎知識である「数理・データサイエンス・AI」に関する知識・技能を身に付け、各自の専門分野での学修や社会生活においてこれらを道具として活用し、新たな価値を創造できる人物の養成を目的として、「同志社データサイエンス・AI教育プログラム(DDASH)」を設置する。
 「同志社データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」においては、「データを読む、説明する、扱う」といった基本スキルを身に付けるとともに、社会の変化、社会におけるデータ・AIの活用領域と利活用例、利活用におけるさまざまな留意事項を理解できるように、プログラムが構成されている。
 「同志社データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)」においては、リテラシーレベルの教育を補完的・発展的に学ぶことで、データから意味を抽出し、現場にフィードバックする能力や、AIを活用し課題解決につながる基礎能力を修得し、自らの専門分野に数理・データサイエンス・AIを応用するための大局的な視点を獲得できるように、プログラムが構成されている。
 ※2015年度生のみ

- 「同志社科目群」を構成する「同志社科目」は、長い歴史と豊かな伝統を有する本学に関する総合的理解を深めて、＜学びの共同体＞に対する主体的な帰属意識を涵養することを到達目標とする。講義に学内施設見学・行事参加などを随時組み合わせた授業をとおして、建学の精神である「良心教育」の基本を学ぶ「基礎科目」と、講義に学内施設見学・行事参加などを随時組み合わせた授業をとおして、教育理念のひとつである「キリスト教主義」に対する理解を深める「展開科目」に分類される。

- 「キャリア形成支援科目群」を構成する「キャリア形成支援科目」は、教育理念のひとつである「自由主義（自治自立の精神）」の具体的実現を目指して、社会的自立及び職業的自立の重要性を理解することを到達目標とする。講義授業をとおして、キャリア形成の基本的事項を学ぶ「基礎科目」と、講義にインターンシップあるいは社会見学などを随時組み合わせた授業をとおして、キャリア形成の実践的知識を学ぶ「展開科目」に分類される。

- 「キャリア形成支援科目群」を構成する「プロジェクト科目」は、教育理念のひとつである「自由主義（自治自立の精神）」の具体的実現を目指して、特定のプロジェクトの実現を目指すPBL (Project-Based Learning) と呼ばれるプロジェクト学習授業をとおして、社会的自立を実現するために不可欠な課題発見能力及び問題解決能力等によって形成される「プロジェクト・リテラシー」を向上させることを到達目標とする。

- 「国際教養科目群」を構成する「国際教養科目」は、教育理念のひとつである「国際主義」の具体的実現を目指して、国際的通用性を有する豊かな教養を習得することを到達目標とする。講義授業をとおして、異文化理解に関する基本的事項を学ぶ「基礎科目」と、講義あるいは演習授業をとおして、異文化と国際社会に関する高度な知識を学ぶ「展開科目」に分類される。

- 「国際教養科目群」を構成する「外国語教育科目」は、教育理念のひとつである「国際主義」の具体的実現を目指して、国際的通用性を有する外国語運用能力と現代国際社会に関する適切な知識を習得することを到達目標とする。「外国語教育科目」が扱う外国語は、現代国際社会で活躍するために必須の英語と、現代国際社会で活躍するために重要なドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、韓国語の初修外国語とする。教育課程の体系性と順次性に留意した演習授業をとおして、学習者の関心と習熟度に合わせて外国語運用能力を向上させる「基礎科目」と、海外留学や受入留学生との交流活動をとおして、現代国際社会に関する適切な理解を体験的に深めつつ、外国語運用能力を実践的に向上させる「留学関連科目」に分類される。なお、現代国際社会における語学的関心の多様化を奨励するために、兼修外国語として、イタリア語の基礎を学ぶ科目も「基礎科目」として設置する。

- 「人文科学系科目」は、講義授業をとおして、人文科学系学問を全学共通科目として学ぶことによって、21世紀型市民にふさわしい幅広い教養を習得することを到達目標とする。

- 「社会科学系科目」は、講義授業をとおして、社会科学系学問を全学共通科目として学ぶことによって、21世紀型市民にふさわしい幅広い教養を習得することを到達目標とする。

- 「自然・人間科学系科目」は、講義授業をとおして、自然・人間科学系学問を全学共通科目として学ぶことによって、21世紀型市民にふさわしい幅広い教養を習得することを到達目標とする。

- 「先端・複合領域科目」のうち「先端領域科目」は、講義授業をとおして、現代の科学技術及び人文社会分野の最先端を行く研究の知識を獲得し方法論を学ぶことによって、21世紀型市民にふさわしい、先進性を追求する学問的態度と独創性を重んじる知的指向性を育成することを到達目標とする。「複合領域科目」は、講義授業をとおして、既成の学問を超えて現代社会の課題を発見し、その解決策を主体的に考えることによって、21世紀型市民にふさわしい学際的な学問的態度と創造的な知的指向性を育成することを到達目標とする。

- 「保健体育科目」は、実習授業及び講義授業をとおして、スポーツと健康に関して体験的かつ科学的に理解することの重要性を学ぶことによって、知・徳・体すべてにわたる豊かな人間性を涵養することを到達目標とする。

発行

同志社大学 全学共通教養教育センター
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL 075-251-3325

URL <https://cgle.doshisha.ac.jp/cgle/>

同志社大学 京田辺校地教務課
〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3

TEL 0774-65-7053

2024年4月1日